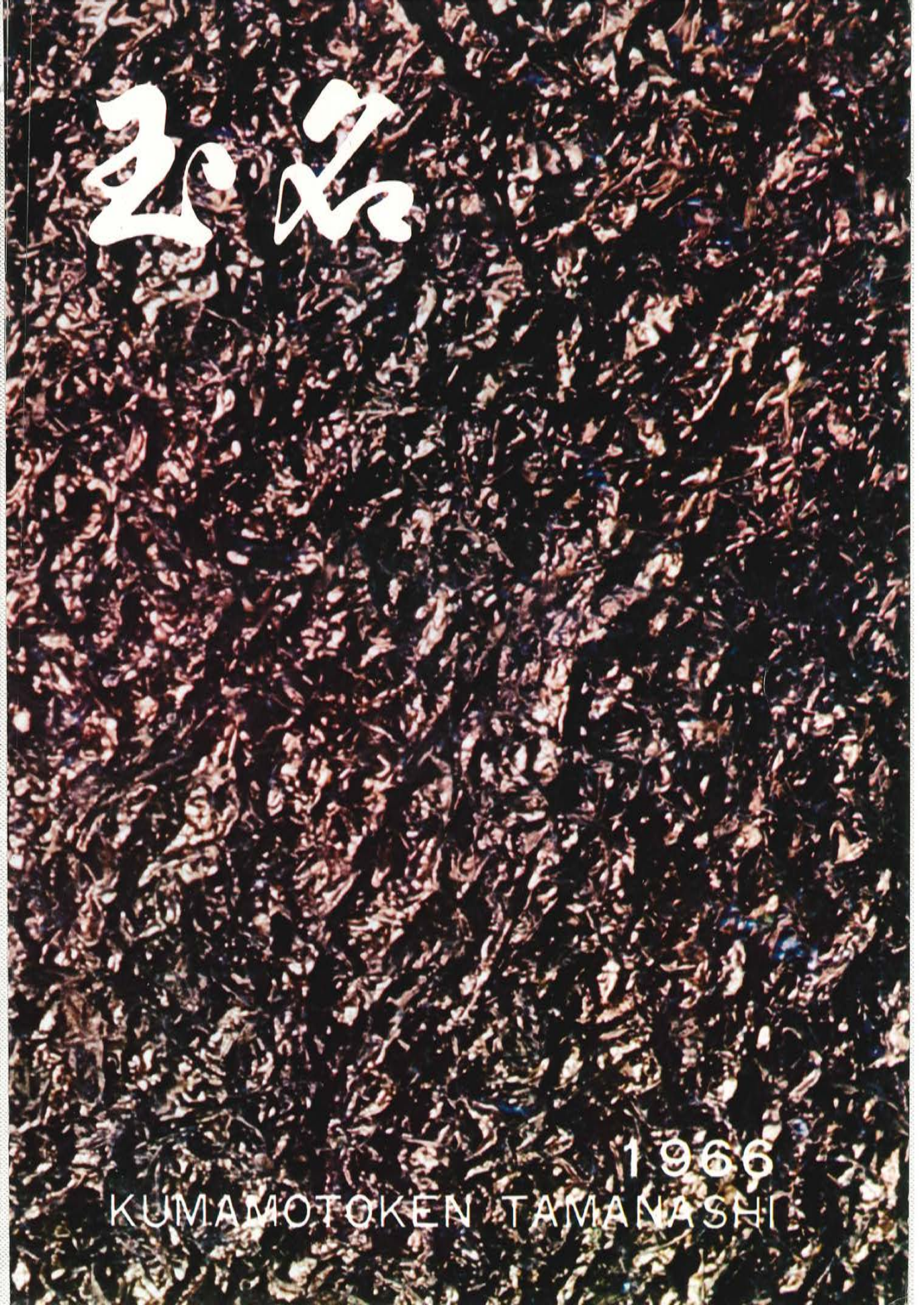




玉名

1966

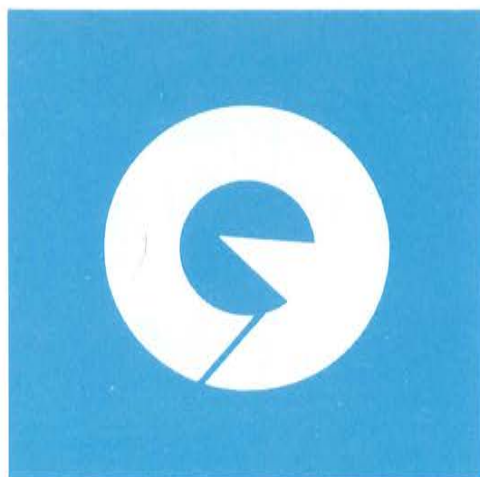
KUMAMOTOKEN TAMANASHI

表紙説明

玉名地方の海岸は海苔の生産地として有名であります。

12月から3月にかけて農家の庭先は一枚づ、簾(みす)にはった海苔でいっぱいになります。

これは乾燥中の海苔を写したものです。



市章説明 玉名の片カナ頭文字「タ」を円型に図案化したもので、中央剣尖は向上発展を意味づけたものです。

躍進都市玉名の市章は昭和29年4月市制施行を記念して広く一般から募集し制定しました。

昭和41年版

玉名市勢要覧

目 次

	頁
沿 革	3
名 誉 市 民	4
位置と地勢	5
自然と人口	6
行 政	9
選 挙	14
財 政	15
産 業 経 済	18
農 林 水 産	20
工 業	24
商 業	25
金 融	26
運 輸 通 信	27
建 設	28
上 水 道	30
保 健 衛 生	31
民 生 労 働	33
教 育	35
公 安	38
市 民 生 活	39
観 光	40
12年のあゆみ	44
玉名平野土地改良事業	55
官公署及び公共機関	56



発刊のことば

玉名市が発足して12年になりますが、市民の和と力により意欲に満ちた都市づくりが着々と進められています。

ここに本市の過去の歩みと現在の市勢をありのままにまとめた要覧を刊行することになりましたが、この要覧により本市を広く紹介し、理解して戴きますと共に、今後の玉名市の進展にいさゝかでも役立てば幸いです。

玉名市長 橋本 二郎





玉名の歴史は古く縄文式時代から天恵の地として知られ、弥生式時代になるとはやくも大陸と交流をもち、下って古墳時代には華麗な副葬品と共に日本最古の漢字が彫まれてある銀象眼の大刀で有名な舟山古墳を初め船型石棺（院塚古墳）や装飾古墳（ナギノ横穴群）を多数のこし、考古学上貴重な遺跡が豊富である。その後当地方を玉杵名と呼び正野長者の日置氏菊池氏、大野氏の荘園として産業が興り社寺等を造営し、この地方の中心としての基礎づくりができた。

当時高瀬、伊倉の港は一時倭寇の根拠地ともなり中国大陸や南方向けの貿易港として栄え切支丹もひろがった。

戦国時代は、諸大名の争奪の地となり焼土と化したが、加藤清正公入国して治水と干拓に力をいれ広大な新田をえて当地方は穀倉地帯として人口も増加した。細川54万石の統治下になると肥後の要衝の地として5ヶ町の一つにかぞえられ文化、経済、商業の中心地として殷賑を極めた。

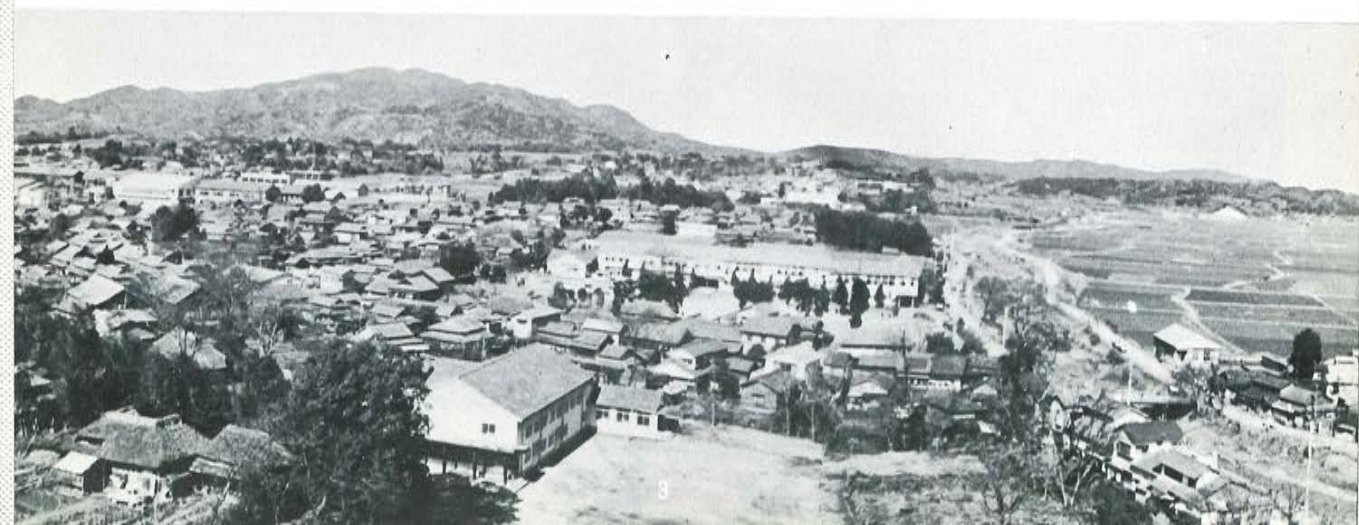
明治十年の西南の役には戦場の最北端として官軍の本営がおかれ熾仁親王もとどまれ附近に多くの有名な戦跡が残っている。

明治以後は、経済面の開拓が著るしく干拓による米の生産・養蚕業の振興、鉄道の開通とともにしだいに発展してきた。



繁根木八幡宮

昭和17年高瀬町と弥富村が合併玉名町となり、昭和29年4月、玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八嘉村、梅林村、小田村、玉名村、月瀬村、石貫村の12ヶ町村の合併により市制が施行され、昭和31年、南関町の一部三ツ川地区が玉名市に編入された。市制施行十年余、海岸地帯の海苔、丘陵地帯の果樹等の生産量の増大、玉名温泉の資源の開発、施設の拡充により、観光客も年間45万を数え工場の進出と国道208号線の貫通とによって都市化が進められ今後一層の近代都市への発展が期待されている。



名 誉 市 民

玉名市名誉市民条例

第1条 この条例は、学術、技芸、其の他一
国の文化の進展に貢献し、その功績卓絶な
者に対して、その功績を讃え、もって市民
の社会文化の向上に関する意慾の高揚を図
ることを目的とする。

第2条 本市に居住し、若しくは居住したこ

とがある者で広く社会文化の向上発展に寄
与し、市民が郷土の誇りとして尊敬する者
に対しては、この条例の定めるところによ
り玉名市名誉市民（以下「名誉市民」とい
う。）の称号を贈ることが出来る。



金 栗 四 三

明治24年熊本県玉名郡旧春富村の金栗信彦氏の四男
として生れのち東京高師を卒業、第5回オリンピック
ストックホルム大会に日本初の選手として出場、つづ
いて第7回アントワープ、第8回パリ大会と出場、そ
の後後輩の指導に専念し日本マラソン界の父と仰がれ
る現在も、日本陸上競技連盟顧問、全国マラソン連盟
会長としてマラソン選手の強化指導に尽している。

昭和30年 紫綬褒章、朝日文化章受賞

昭和39年 勲4等旭日小授章授賞



新 穂 登 免

明治5年熊本市坪井町、内藤仙太氏の次女として生
れ、熊本尚綱女学校裁縫科を卒業、その後、熊本高等
小学校教諭、引続き25年間教壇生活を送り、子女の裁
縫教育に尽し、大正14年白梅学園玉名女子高等学校の
前身である高瀬女学院（玉名家政高等学校）を創設し
昭和32年まで32年間同学園の理事長と校長を兼、現在
も理事長兼名誉校長として玉名地方の子女教育に大き
な貢献をしている。

昭和33年 藍綬褒章授賞



位置と地勢



玉名市は熊本県の北部に位置し、面積88.85 km^2 である。熊本市と大牟田市の中間にあり、清流菊池川をはさんで市街を形成し、南は有明海に面し、市域は東西10.5 km 南北14 km に亘る。北部に県立公園小岱山の丘陵地帯と海岸線との間に玉名平野と称される肥沃な穀倉地帯をいだき物資供給の要衝に当っており市の北部には300余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉があり交通網が発達して県北部の枢要の地に位置している。

位置

極 東	極 西	極 南	極 北
東経130°37'39"	東経130°30'56"	北緯 32°51'43"	北緯 32°59'18"
奥野地区	築地南部	大浜町末広	三ツ川石尾

有租地面積

民 有 租 地 (町)						
総地積	宅 地	田	畑	山 林	原 野	その他
6695.0	456.6	2540.1	1497.3	2082.7	105.4	12.9



菊池川 (熊日提供)

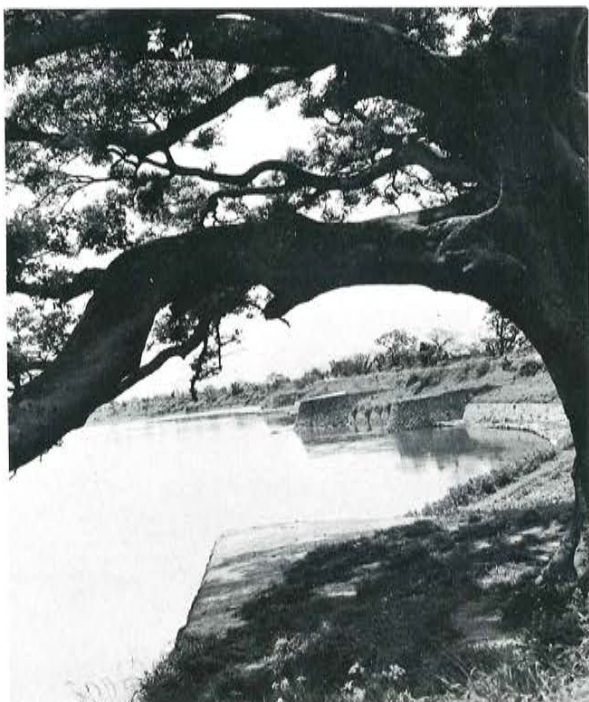
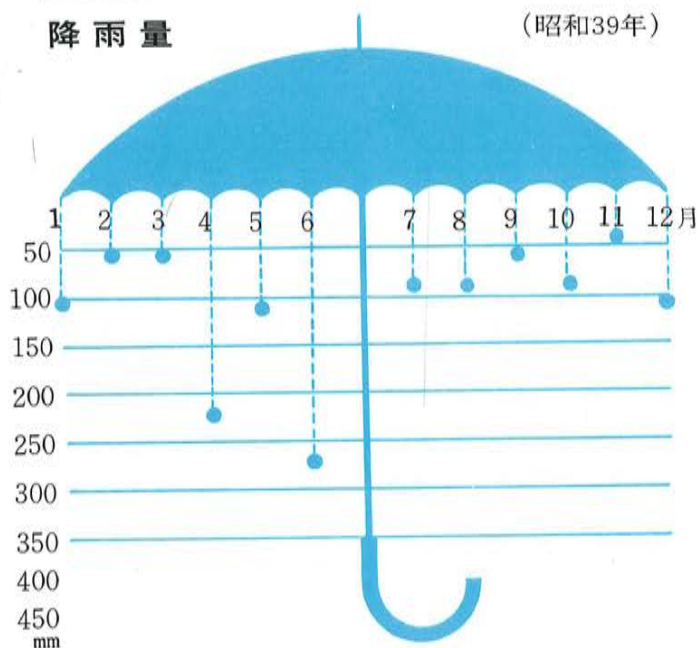




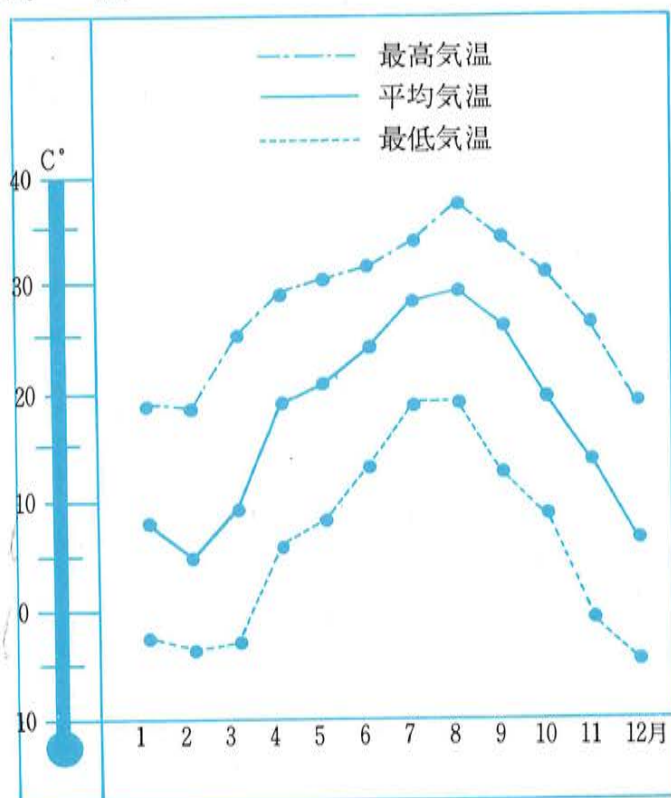
自然

降雨量

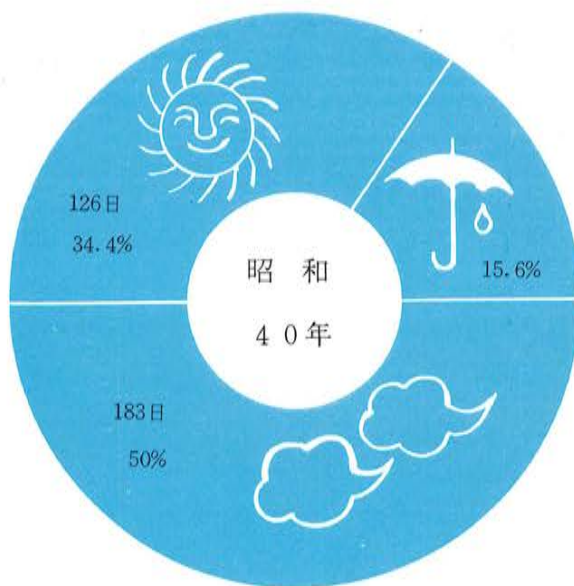
(昭和39年)



気温



1年間の天気割合

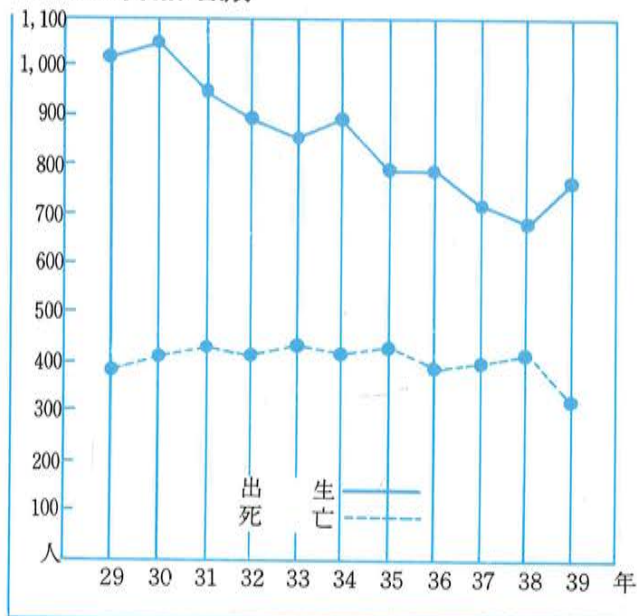


人 口

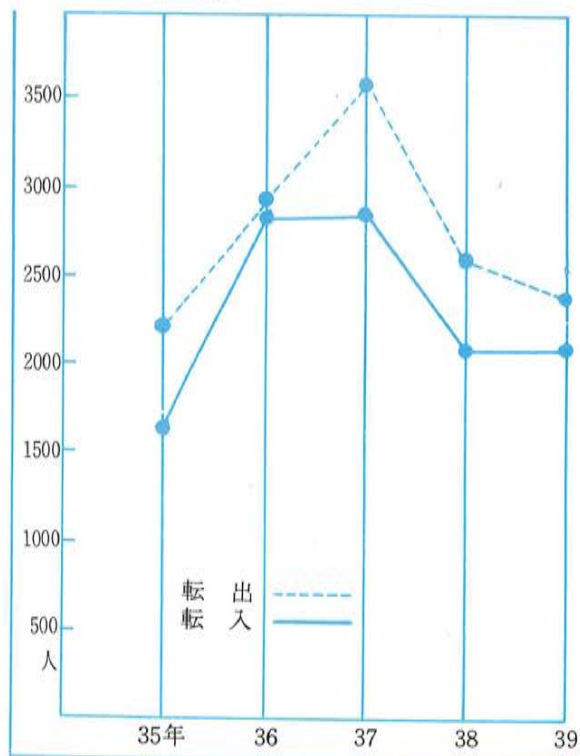
人口の推移

年次	世 帯	男	女	計
29	9,216	22,971	25,019	47,990
30	9,264	23,063	24,835	47,898
31	9,630	23,795	25,868	49,663
32	9,828	23,865	25,969	49,834
33	9,957	23,936	26,099	50,035
34	10,079	23,911	26,091	50,002
35	10,283	23,780	26,007	49,787
36	10,316	23,482	25,710	49,192
37	10,302	22,805	25,141	47,946
38	10,382	22,732	25,025	47,757
39	10,454	22,845	25,121	47,966
40	10,477	21,881	24,330	46,211

人口の自然増減



人口の社会増減



外国人国籍別人口

国 籍	世 帯 数	男	女	計
中 国	1	3	2	5
アイルランド	1	1	0	1
朝 鮮	18	27	21	48
韓 国	14	26	15	41
カ ナ ダ	1	1	0	1
計	35	58	38	96



国勢調査人口

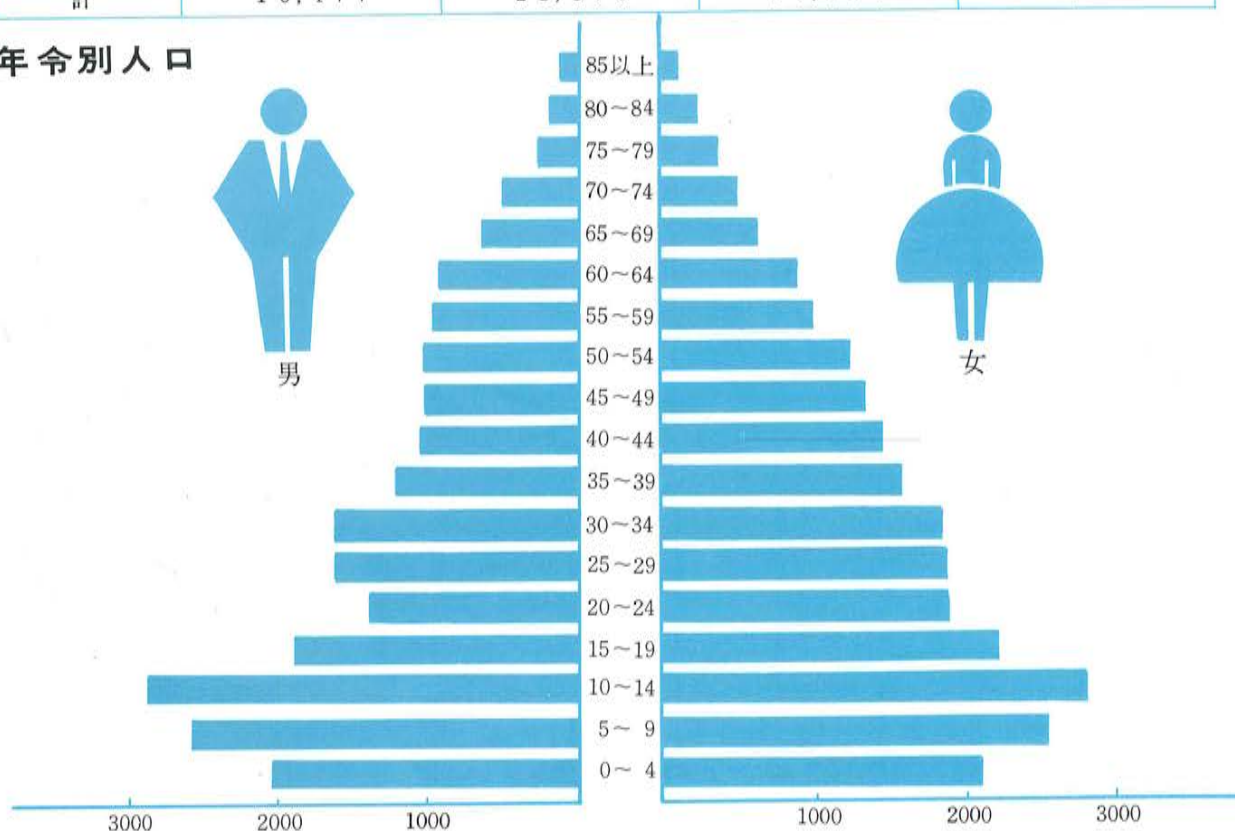
年次	世帯	男	女	計
大正 9	5,872	15,083	16,350	31,433
14	5,605	16,042	16,991	33,033
昭和 5	6,267	16,516	17,926	34,442
10	6,433	16,769	18,099	34,868
15	6,180	15,596	18,415	34,011
20	8,836	21,686	24,261	45,947
25	8,862	22,101	24,385	46,486
30	9,501	23,296	25,727	49,023
35	9,820	22,459	25,277	47,736
40	10,315	21,221	24,077	45,298

各地区別人口

(昭和40年10月1日現在)

地区	世帯	男	女	計
玉名町	3,595	6,920	7,806	14,726
築山	610	1,197	1,317	2,514
滑石	1,023	2,269	2,365	4,634
大浜	806	1,980	2,147	4,127
豊水	358	885	970	1,855
伊倉	1,149	2,339	2,625	4,964
八嘉	791	1,491	1,750	3,241
梅林	550	1,281	1,366	2,647
小田	284	651	727	1,378
石貫	343	746	885	1,631
月瀬	301	642	712	1,354
三ツ川	253	538	652	1,190
玉名	414	939	1,008	1,947
計	10,477	21,878	24,330	46,208

年齢別人口





議決機関

市議会は、定数30名の議員によって構成されている。議会は市の意思を決定する機関で基本的、本質的な権限としての議決権、すなわち、条例の制定、改廃、予算の決定、決算の認定等の重要な権限のほか、選挙、検閲、検査、監査請求、調査、意見書提出、請願及び陳情の受理など広はんな権限をもっている。

市議会は、年4回の定例会と必要に応じて臨時会を開催する。内部組織として部門別に総務、経済、建設、文教厚生 の4 常任委員会がおかれている。

議長
蔵土 義任副議長
中山 新次郎

市議会機構



歴代議長及び副議長

議 長			副 議 長		
	氏 名	在 職 期 間		氏 名	在 職 期 間
1	猿 渡 励 蔵	就 S 29. 4. 5 退 S 30. 2. 28	1	小 山 軍 次 郎	就 S 29. 4. 5 退 S 30. 2. 28
2	蔵 土 義 任	就 S 30. 3. 1 退 S 31. 10. 26	2	安 東 幹	就 S 30. 3. 1 退 S 31. 10. 26
3	沼 田 一	就 S 31. 10. 27 退 S 34. 2. 28	3	蔵 土 義 任	就 S 31. 10. 27 退 S 34. 2. 28
4	蔵 土 義 任	就 S 34. 3. 5 退 S 36. 3. 9	4	熊 野 秀 次	就 S 34. 3. 5 退 S 36. 3. 9
5	蔵 土 義 任	就 S 36. 3. 10 退 S 38. 3. 7	5	熊 野 秀 次	就 S 36. 3. 10 退 S 38. 3. 7
6	蔵 土 義 任	就 S 38. 3. 8 退 S 40. 3. 7	6	黒 田 孝	就 S 38. 3. 8 退 S 40. 3. 7
7	蔵 土 義 任	就 S 40. 3. 10	7	中 山 新 次 郎	就 S 40. 3. 10

市議会議員（定員30名）

（昭和40年3月）

議席番号	氏 名	所属委員会	住 所	議席番号	氏 名	所属委員会	住 所
1	○竹 下 行 男	経 済	大 浜	16	田 代 寿 吉	総 務	玉 名
2	下 川 時 次	経 済	津 留	17	大 潮 寛 太	建 設	大 倉
3	昭和41年2月9日死亡 猿 渡 尋 雅	総 務	立願寺	18	大 野 一 則	経 済	滑 石
4	森 木 国 彦	総 務	大 浜	19	松 田 正 蔵	建 設	築 地
5	昭和41年2月3日死亡 藤 野 可 正	文 厚	高 瀬	20	○北 岡 勇太郎	総 務	滑 石
6	○安富 よし之亮	文 厚	下	21	黒 田 孝	建 設	高 瀬
7	田 端 末 記	建 設	伊 倉	22	中 山 新次郎	総 務	伊 倉
8	城 戸 円	経 済	富 尾	23	熊 野 秀 次	文 厚	高 瀬
9	上 田 梅 次	経 済	立願寺	24	◎大 磯 正 人	総 務	小野尻
10	吉 田 セツエ	文 教	高 瀬	25	前 川 又 蔵	建 設	滑 石
11	丸 山 武 一	総 務	伊 倉	26	◎小 山 幸 男	経 済	横 田
12	◎高 木 義 男	文 厚	溝 上	27	佐 藤 一 郎	文 厚	岩 崎
13	中 尾 平 八	経 済	山 田	28	◎衛 藤 政 史	建 設	溝 上
14	○今 村 募	建 設	大 浜	29	小 岱 篤 之	総 務	築 地
15	納 富 弦 男	経 済	川部田	30	蔵 土 義 任	文 厚	中坂門田

（注）◎印 委員長 ○印 副委員長

執行機関



助 役
三 浦 強 助



収 入 役
杉 島 円

行政事務の機械化

昭和29年4月新市町村建設促進法にもとづき市制を施行した。現在の予算を当時と比較すると約4倍となっており市政も飛躍的に伸展したが、その反面事務内容も益々複雑化されてきたので昭和39年事務改善に着手、バロス会計機等を購入し、課税事務の機械化を図り同時に伝票会計への切替え並びに市民課にビジュアルレーコダを購入して窓口の改善を行い、職員の名札着用とともに市民サービスの向上につとめている。



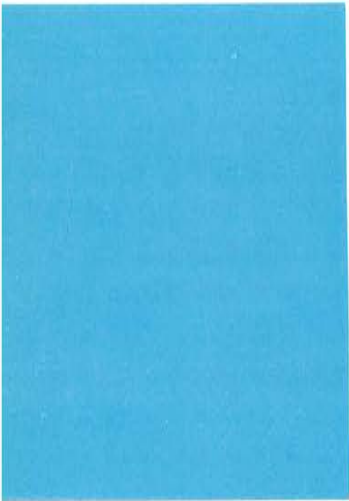
市 役 所 窓 口



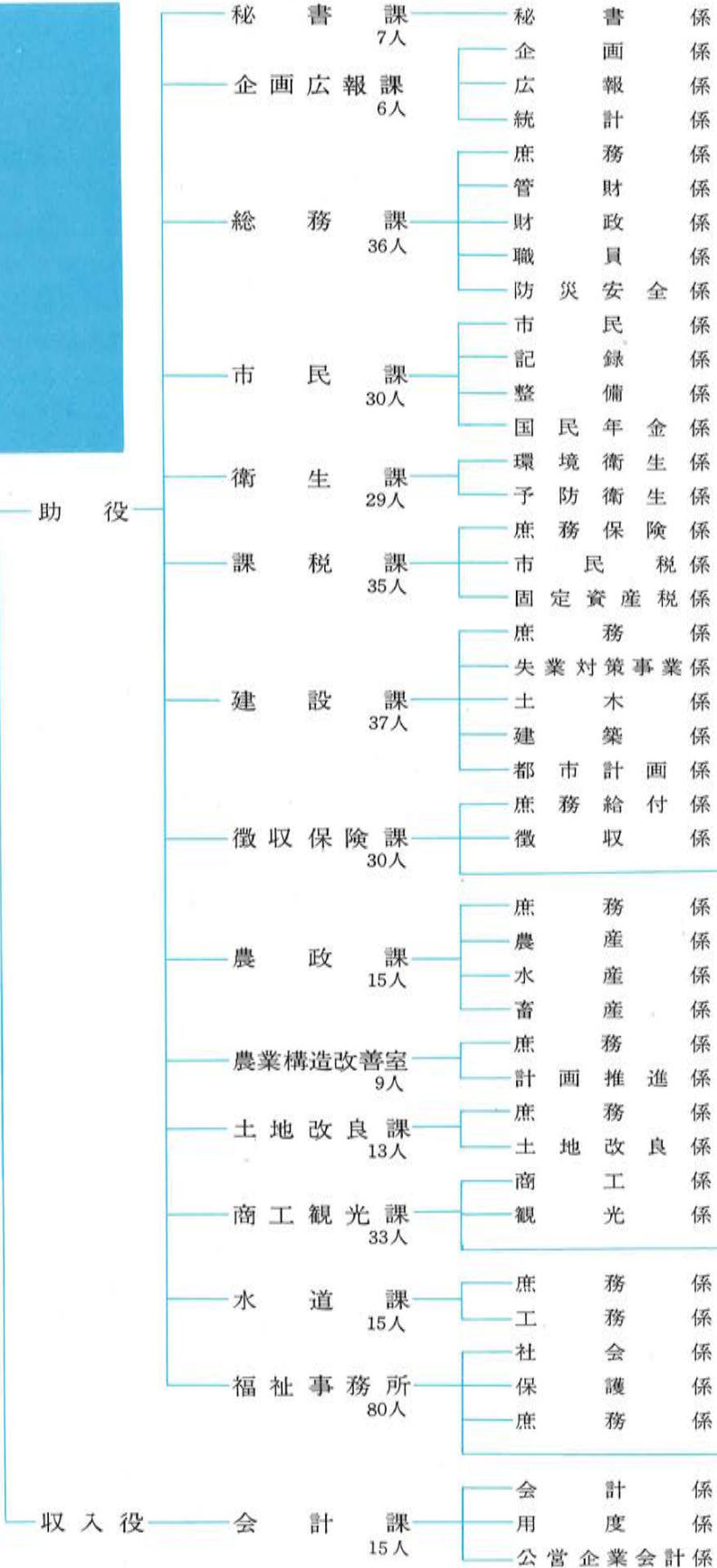
電 動 会 計 機



ビジュアルレコーダー



市長 助役



第一診療所
第二診療所

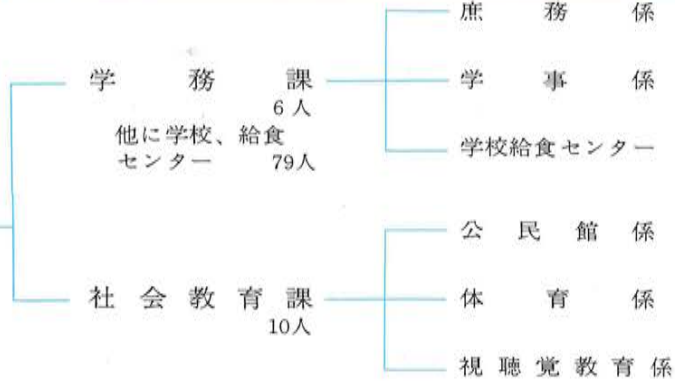
市営温泉保養センター

保静母
育光子
所園寮

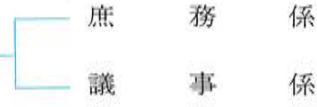


市庁舎

教育委員会 — 教育長



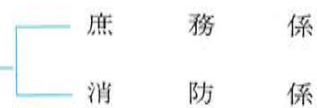
市議会 — 市議会事務局



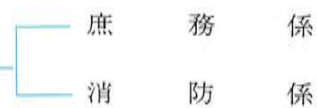
農業委員会 — 農業委員会事務局



監査委員 — 監査委員事務局



消防本部 — 消防署



公平委員会 — 公平委員会事務局

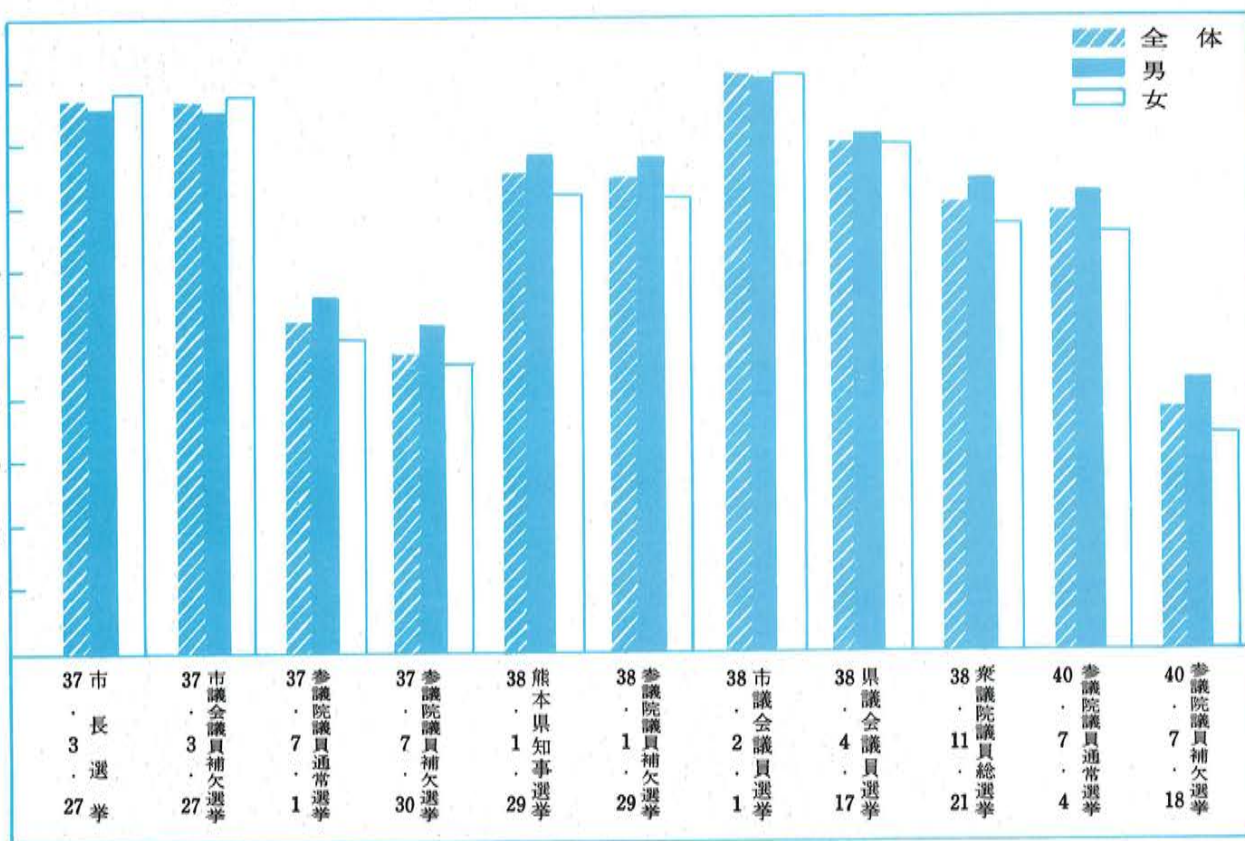
選挙管理委員会 — 選挙管理委員会事務局

	吏員	雇	臨時	男	女	総計
市長部局	181	141	68	240	150	390
その他の部局	34	73	35	63	79	142
計	215	214	103	303	229	532



地区別有権者数 (昭和40年12月現在)

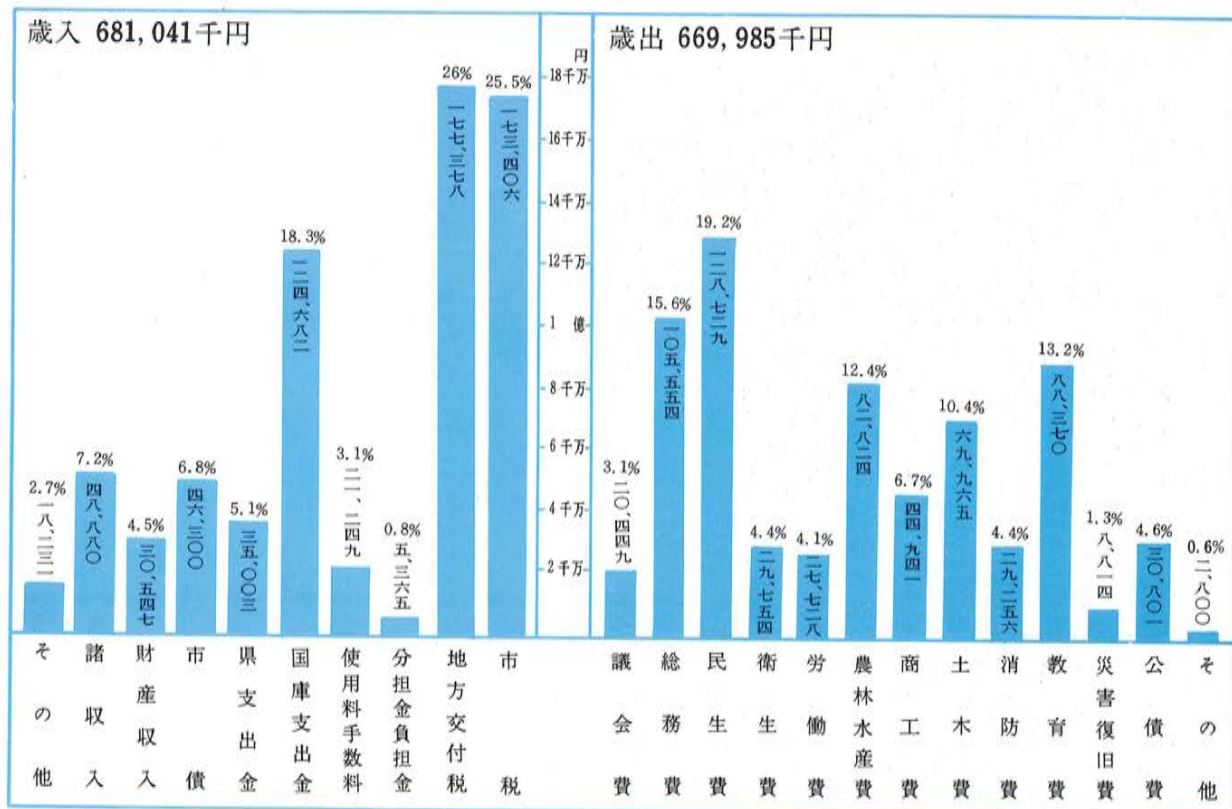
地区名	男	女	計
玉名町	3,984	5,286	9,270
築山	762	892	1,654
滑石	1,292	1,504	2,796
大浜	1,075	1,240	2,315
豊水	474	575	1,049
伊倉	1,332	1,623	2,955
八嘉	1,019	1,161	2,180
梅林	724	874	1,598
小田	389	463	852
玉名	558	657	1,215
月瀬	394	458	852
石貫	473	562	1,035
三ッ川	321	403	724
計	12,797	15,698	28,495





昭和39年度一般会計決算

昭和31年以来、健全財政を堅持し、市民の福利、市の充実発展のために教育文化、産業振興、保健衛生、都市計画などを積極的に慎重な計画で執行している。



昭和40年度一般会計当初予算 (単位千円)

歳 入

	昭和40年度	昭和39年度
市 税	172,834	171,854
地 方 交 付 税	196,659	163,000
分担金及び負担金	1,318	5,059
使用料及び手数料	22,323	18,216
国 庫 支 出 金	126,961	111,772
県 支 出 金	41,616	31,852
財 産 収 入	5,067	12,680
寄 付 金	1,021	3,186
繰 入 金	2,501	1
繰 越 金	1	1
諸 収 入	62,290	42,765
市 債	106,600	9,500
歳 入 合 計	739,191	569,886

歳 出

	昭和40年度	昭和39年度
議 会 費	21,033	19,984
総 務 費	104,597	94,760
民 生 費	130,584	115,616
衛 生 費	29,173	22,682
労 働 費	28,631	23,879
農 林 水 産 業 費	92,903	78,746
商 工 費	44,240	34,339
土 木 費	71,304	68,268
消 防 費	20,346	16,137
教 育 費	146,070	51,511
災 害 復 旧 費	2,727	9,416
公 債 費	41,782	32,247
諸 支 出 金	2,801	301
予 備 費	3,000	2,000
歳 出 合 計	739,191	569,886

市税の概要

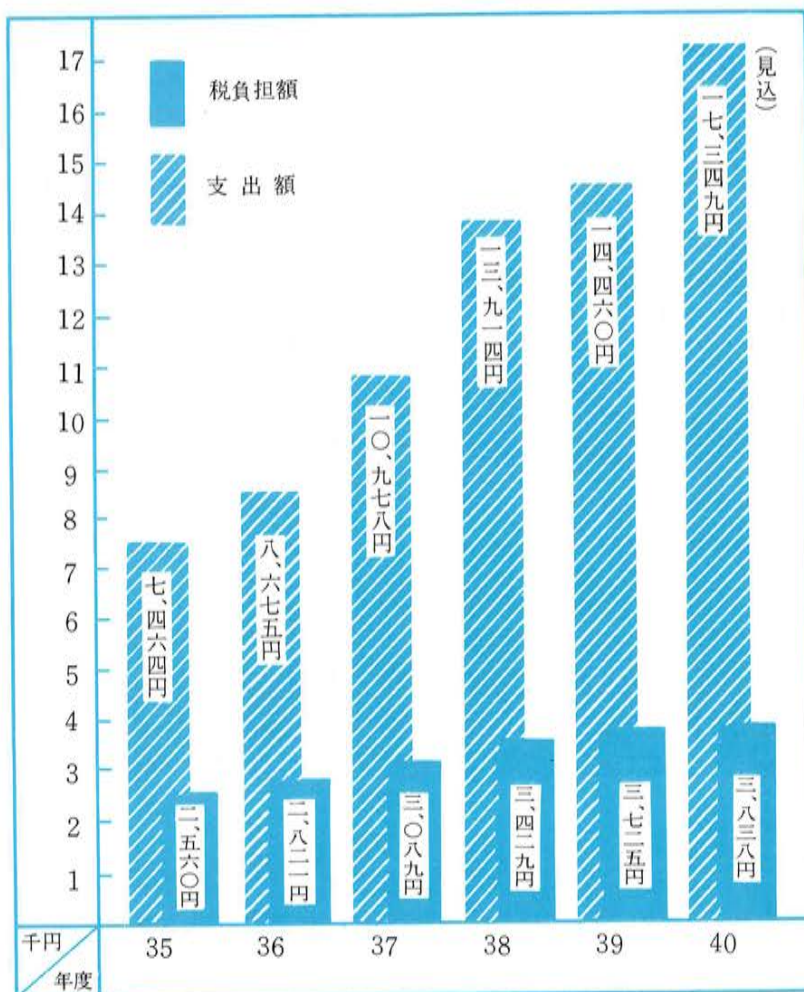
昭和39年度市税決算

(単位千円)

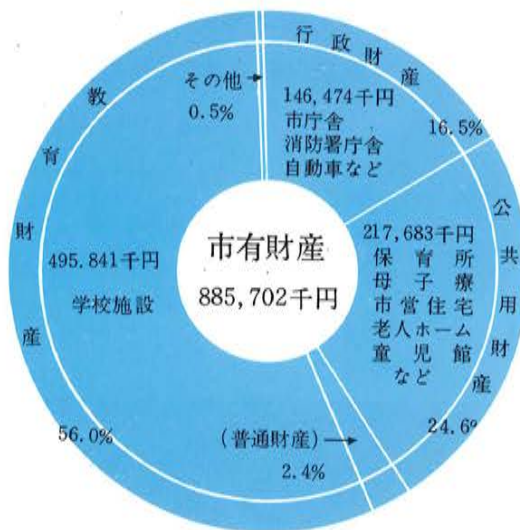
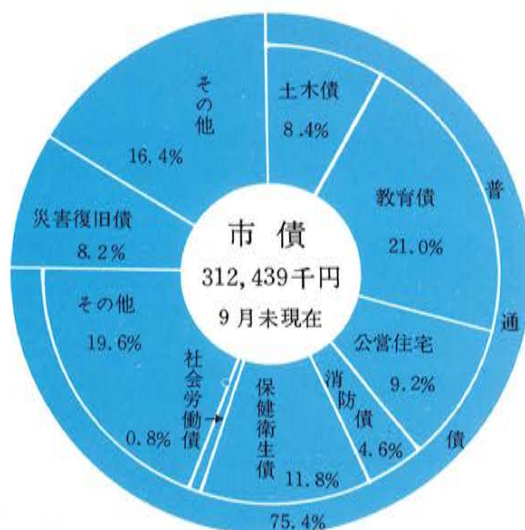
	調 定 額	決 算 額
市 民 税	66,522	61,663
固 定 資 産 税	74,080	65,857
軽 自 動 車 税	6,930	5,740
た ば こ 消 費 税	24,266	24,266
電 気 ガ ス 税	11,046	11,046
鉱 産 税	112	45
木 材 取 引 税	30	30
入 湯 税	2,250	2,210
都 市 計 画 税	2,803	2,536
旧 法 に よ る 税 収 入	54	13
合 計	188,093	173,406

市民一人当りの税負担と支出額

市 民 税	1,150円
固 定 資 産 税	1,504円
軽 自 動 車 税	160円
た ば こ 消 費 税	649円
電 気 ガ ス 税	266円
入 湯 税	49円
都 市 計 画 税	60円
合 計	3,838円



市債と市有財産



昭和40年度特別会計予算執行状況

(9月30日現在)

単位千円

	予算額	収入額	支出額
国民健康保険会計	156,000	70,957	57,753
" 第1診療所会計	3,987	2,256	1,915
" 第2診療所会計	2,916	613	1,042
と畜場会計	3,501	685	2,461
開拓事業会計	4,747	379	3,749
土地開発事業会計	1,858	369	12
奨学資金会計	648	390	288
土地区画整理事業	38,414	-	35,278
合 計	212,071	75,649	102,498

昭和40年度温泉センター事業特別会計

(40年4月1日から9月30日まで)

営業収益	9,002,007円
営業外収益	105,136円
営業費用	7,143,447円
営業外費用	2,246,205円

昭和40年度市上水道事業報告

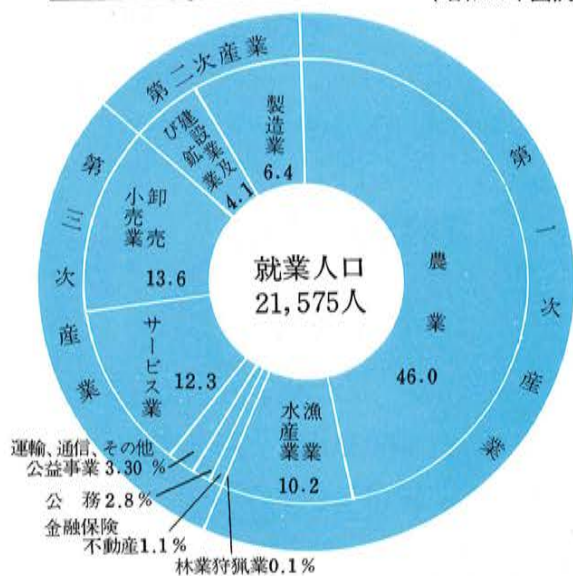
(40年4月1日から9月30日まで)

営業収益	14,930,576円
営業外収益	170,107円
営業費用	6,897,114円
営業外費用	4,931,820円



産業別人口

15才以上の就業者
(昭和35年国調)



農業



工業



商業

		昭和30年	割合%	昭和35年	割合%
第一次産業	農業	9,682	45.2	9,932	46.0
	林業・狩猟業	20	0.1	21	0.1
	漁業・水産養殖業	2,710	12.7	2,199	10.2
第二次産業	鉱業	133	0.6	148	0.7
	建設業	666	3.1	727	3.4
	製造業	1,578	7.4	1,388	6.4
第三次産業	卸売業・小売業	2,480	11.6	2,938	13.6
	金融・保険・不動産業	277	1.3	247	1.1
	運輸・通信・その他の公益事業	671	3.1	705	3.3
	サービス業	2,514	11.8	2,657	12.3
	公務	650	3.1	612	2.9
	不詳	0		1	
	合計	21,381	100	21,575	100

新産都市における玉名市

昭和39年4月不知火、有明、大牟田地区が新産都市地域に指定され、九州西部に施ける開発拠点として今後の発展が期待されている。

当市では、先づ道路環境の整備に力をそ、ぎ将来有明地区の住宅地を目指して都市区画整理事業及び公営住宅の建設が計画され、住宅については既に大倉団地に232戸の完成をみている。

又、市民、観光客のいこいの場所として玉名温泉を中心とした市営の温泉保養センター・大衆浴場が完成し今後蛇ヶ谷公園の大規模な開発計画が予定されている。

そのほか有明地区の文教の中心地として教育施設の整備強化もなされつゝあり、市民文化会館の建設もすでに着工され、市の都市計画とあいまって新産都市建設の都市づくりが進められている。



長洲地先埋立



小田地区区画整理

農 業

田園都市から近代的田園文化都市への脱皮は玉名市発展の進路である。

農業構造改善の上小田区画整理事業は、新しい水田経営の在り方を教え、養鶏の玉名方式は全国にその実績を認められ青野地区の樹園地整備事業は近代化果樹園のサンプルとなり、指針となっている。

“鋤、鋤農業”から“機械化農業”への変遷は日本農業の姿であり、又玉名農業の実態でもある。「若年労働力の都市流出」「三ちゃん農業」「後継者育成」など一連の経過は近代化への胎動でもあると考えられる。

農家戸数と人口

年別	農 家 人 口	従 事 者	戸 数	専 業	第一兼業	第二兼業
35年	27,588	10,861	4,981	2,100	1,693	1,188
40年	24,101	9,779	4,672	1,294	1,869	1,509

経営耕地面積

年別	総 面 積	田	畑	樹 園 地
35年	33,484反	22,877反	7,481反	3,126反
40年	32,555反	22,661反	5,576反	4,318反

経営耕地広狭別戸数

年別	3反未満	3～5	5～7	7～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30以上	規定外
35年	1,195戸	770	721	1,104	976	176	22	2	1	14
40年	1,040戸	744	690	1,047	901	195	41	6	0	8

農機具所有台数

	耕うん機トラクター	動力噴霧機	動力撒粉機	農用トラック
35	82	265	93	78
40	1,247	242	64	569

農産物生産高（昭和39年度）

種 類	収 量 t	金 額 百万円	
米	10,500	933	
麦 類	3,625	166	小麦 2,980t 裸麦 645t
雑穀・豆類	713	34	豆 313t 雑穀 400t
い も 類	4,496	42	かんしょ 4,021t 馬れいしょ 475t
野 菜		94	
果 樹	1,500	88	みかん 800t ぶどう 300t その他 400t
養 蚕	2,538	163	
た ば こ	243	105	
そ の 他		21	花・苗木・農産加工



畜 産

畜産物生産高

(昭和39年)

畜 種	生産量	金額千円	畜 種	生産量	金額千円
乳牛	牛乳	1254,000kg	豚	子豚生産	800頭
	子牛生産牝	116頭		肉生産	380頭
	子牛生産牡	115頭		計	14,700
	計	52,543	鶏	卵	68,000kg
和牛	子牛生産牝牡	180頭		廃鶏	47,600羽
	肉牛生産	50頭		ブロイラー	20,000羽
	計	17,800		計	171,960



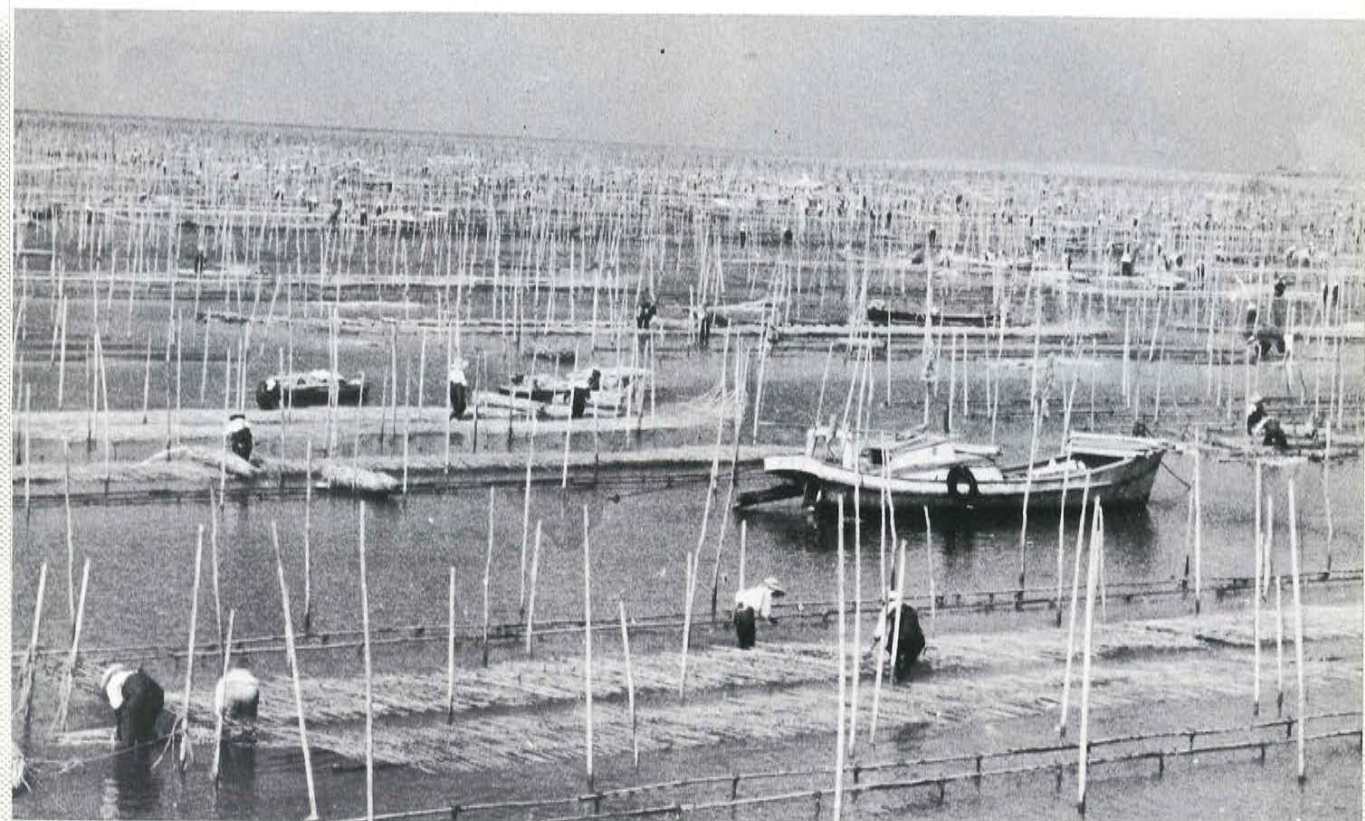
家畜飼育頭羽数

	大 家 畜(頭)			中 家 畜(頭)			小 家 畜(羽)
	乳用牛	役肉用牛	馬	豚	めん羊	山 羊	にわとり
35年	173	2,693	202	230	140	380	41,723
40年	561	1,990	12	596	8	108	75,422

水 産

水産物生産高 (昭和39年度)

種 別	生産量	金額
海 苔	60,524,000枚	392,195千円
魚 貝 類	5,801 t	43,496千円



海 苔 種 っ



海 苔 採 取

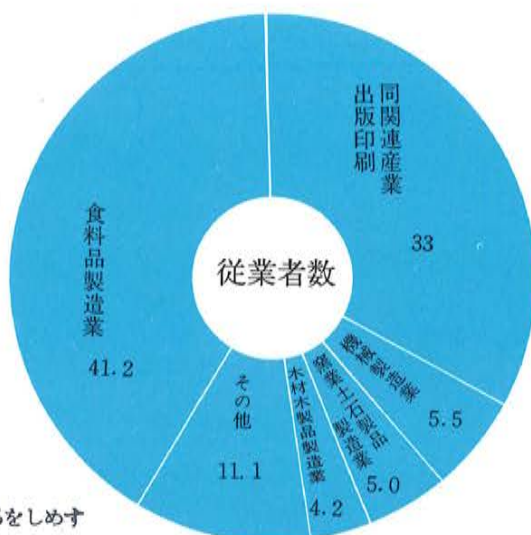
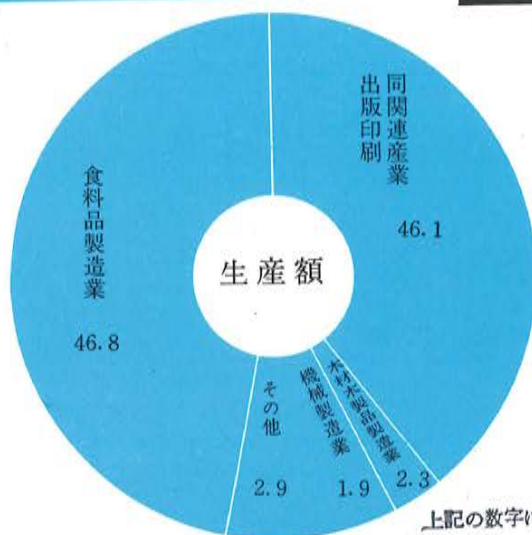


海 苔 の 天 日 乾 燥

玉名市の海苔は菊池川河口の大浜滑石地区で年間平均数 6,000万枚39億円が生産される。

明治の中頃より生産され、近年にいたり人工採苗法により生産量は飛躍的に増加した。

昭和40年から漁業構造改善事業がとりあげられ漁場の拡張、養殖方法の改良等により、今後の生産量増加が期待されている。



上記の数字は%をしめす

工業の概況 (S. 39. 12. 31. 工業調査)

産業分類	項 目	工 場 数	従業者数(人)	製造品出荷額(万円)
総 数		1 2 6	1, 432	407, 774
食 料 品 製 造 業		6 7	590	190, 764
織 維 工 業		1	—	—
木 材 木 製 品 製 造 業		8	60	9, 349
家 具 装 備 品 製 造 業		9	26	1, 778
パルプ・紙・紙加工品製造業		1	—	—
出 版 印 刷 同 関 連 産 業		1 0	472	187, 802
化 学 工 業		6	34	2, 148
石 油 石 炭 製 品 製 造 業		1	—	—
窯 業 土 石 製 品 製 造 業		1 0	72	3, 675
金 属 製 品 製 造 業		2	—	—
機 械 製 造 業		4	79	7, 857
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業		3	3	397
そ の 他 の 製 品 製 造 業		4	14	705

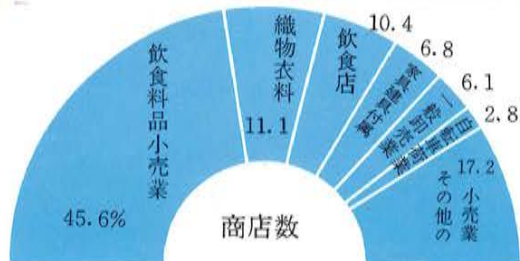




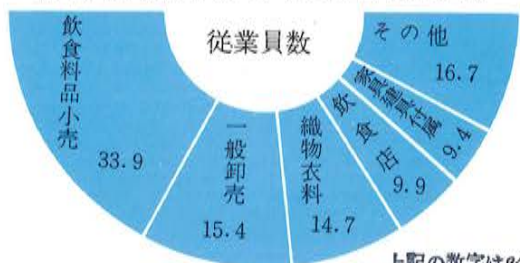
商業の概要

(S. 39. 7. 1. 商業調査)

項 目 産業分類	商 店 経 営 数			常 時 従 業 者 数		年 間 販 売 額
	総 数	法 人	個 人	従業者数	1商店当り 従業者数	
総 数	820	46	774	2,167	2.65	3,963,725
一 般 卸 売 業	50	20	30	(15.36%) 333	6.7	1,397,208
各 種 商 品 小 売 業	1	1	—	—	—	—
織 物 衣 服 身のまわり品小売業	91	8	83	(14.72) 319	3.5	558,422
飲 食 料 品 小 売 業	374	4	370	(33.87) 734	1.9	990,519
飲 食 店	87	—	87	(9.88) 213	2.4	81,128
自 転 車 荷 車 小 売 業	23	—	23	—	—	—
家 具 建 具 ・ 計 器 小 売 業	56	6	50	(9.36) 203	3.6	277,169
そ の 他 の 小 売 業	138	7	131	(13.61) 295	2.1	616,549



業種別商店数と従業者数の比



上記の数字は%をしめす



商 工 会 館

中央商店街





主な金融機関

総 計	銀 行	相 互 銀 行	信 用 金 庫	郵 便 局	農 協
15	1	3	1	7	3

預金貯金及び貸出状況調

単位 千円

区 分	預 貯 金						貸 出		
	総 額	当 座	普 通	通 知	定 期	そ の 他	総 額	貸付金	割引手形
銀 行	1,352,903	51,666	367,782	12,855	873,337	47,263	1,162,003	494,516	667,487
相 互 銀 行	1,336,538	15,947	270,787	38,528	795,859	215,417	930,340	859,911	70,429
信 用 金 庫	422,913	680	97,414	5,040	220,110	99,669	398,741	398,741	
郵 便 局	649,120		386,066		179,017	84,037	365,310	365,310	
農 協	499,607		276,460		198,062	25,085	349,843	349,843	



昭和33年に新農産漁村計画でトランペット方式の有線放送を開始したが、施設老朽化のため最新式の全自動方式を取り入れた有線放送電話工事が41年4月開通を目標に進められている。市内一円の加入戸数 3,000戸全自動ダイヤル式（秘話個別呼出しスピーカー付）で広報活動の充実と市民生活の向上に果す役割は大きい。



運 輸

区 分	旅 客				貨 物	
	玉 名		肥 後 伊 倉		玉 名	
	乗 客	降 客	乗 客	降 客	発 送	到 着
37年	1,369,621	1,371,959	281,209	278,228	39,112	39,071
38年	1,434,270	1,434,270	289,325	279,558	30,662	45,762
39年	1,519,761	1,499,672	281,073	271,526	30,948	44,878

通 信 郵便物取扱状況

区 分	特 別 郵 便		普 通 郵 便		小 包 郵 便	
	発 信	着 信	発 信	着 信	発 信	着 信
37年	49,172	70,280	1,873,168	2,189,573	19,661	35,229
38年	53,667	76,724	1,889,560	2,205,684	21,022	36,647
39年	65,027	76,258	1,954,903	2,002,038	22,593	37,162

電 話 加 入 者 数 38年度

年 別	加入者数	一 般	公 衆	一 日 の 平 均 通 話	
				市 内	市 外
38年	1,455	1,379	76	10,911	1,210
39年	1,500	1,411	89	12,708	1,299

電 報 39年度

発 信	着 信
28,824	21,069





道路

国道延長	8,340m
県道延長	44,582m

市道の概要

総延長	市 員 別 の 内 訳								橋 梁		
	改 良 道 路		未 改 良 道 路				路 面 別 内 訳		個 所	延 長	
	7.5m 以上	5.5m 以上	5.5m 以上	4.5m 以上	3.5m 以上	3.5m 以下	うち自動車 交通不能	砂利道			舗装道
277,780	1,054	5,860	14,440	71,225	135,181	50,020	25,910	272,388	4,114	227	1,330

都市計画

昭和29年4月隣接12ヶ町村が合併、玉名市が誕生、現在82平方キロが都市計画法の適用を受けている。

都市計画の施設については、荒尾市長洲町、岱明町、玉名市が一体となり新産都市の構想を勘案し、将来秩序ある発展をはかるため、用途地域等も調査準備中である。



都市下水路

昭和37年市街地の下水路網を計画、同年より緊急を要する幹線路より着工、すでに岩崎下水路延長 678米は完成、亀甲下水路延長 845米も昭和41年度中には完成の予定。なお、立願寺地区、高瀬地区も順次整備し豪雨による浸水を防ぐ計画である。



公園

蛇ヶ谷公園は面積約18.6ヘクタールで、現在殆ど自然の状態であるので市民の健全な憩いの場所とするため、昭和40年6月計画、事業決定をうけ整備中である。

区画整理

将来の住宅地域として岩崎地区に区画整理事業が計画されている。

街路事業

昭和35年から37年までに玉名駅前広場(4,300m²)を事業費60,314千円で完成

尚、昭和40年度は事業費 600万円をもって玉名駅下町線の街路事業が実施されている

都市下水路事業

水 路 名	施 行 年 度 別 事 業 費				
	37 年	38 年	39 年	40 年	計
岩 崎 排 水 路	120m 3,300千円	540m 12,000千円			660m 15,300千円
南 出 排 水 路			130m 6,000千円	190m 13,500千円	320m 19,500千円

公 営 住 宅



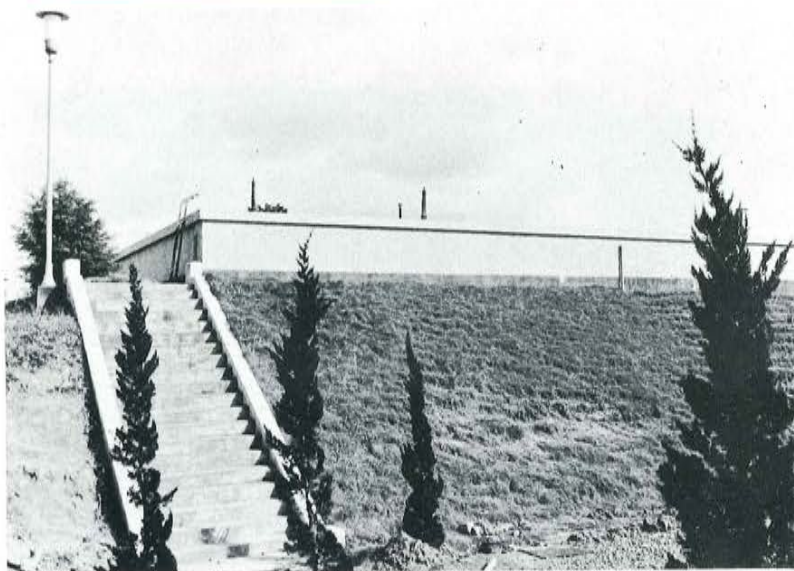
大 倉 団 地

公営住宅建築状況

年 度	木 造		簡 耐		合 計
	1 種	2 種	1 種	2 種	
35年度まで	67	60	23	18	168
36 年 度	5	10	12	18	45
37 "		2	18	29	49
38 "			28	20	48
39 "			20	25	45
40 "			44	18	62
計	72	72	145	128	417

失 業 対 策 事 業

年 度	失 対 適 格 者 数		年 間 就 労 人 員	失 対 予 算 額
3 8 年	1 5 8 人	男 66人	32,263人	22,829,000円
		女 92人		
3 9 年	1 4 5 人	男 60人	29,710人	25,909,000円
		女 85人		



上水道貯水池

現在の上水道現状

昭和40年に上水道拡張工事が総事業費6,800万円で完成した。これにより水道管は市内一円に32,000米に延長され、給水人口は2万人、1日最大給水量は6,000 m^3 となり、まだ余裕のある安定した給水状態を示している。

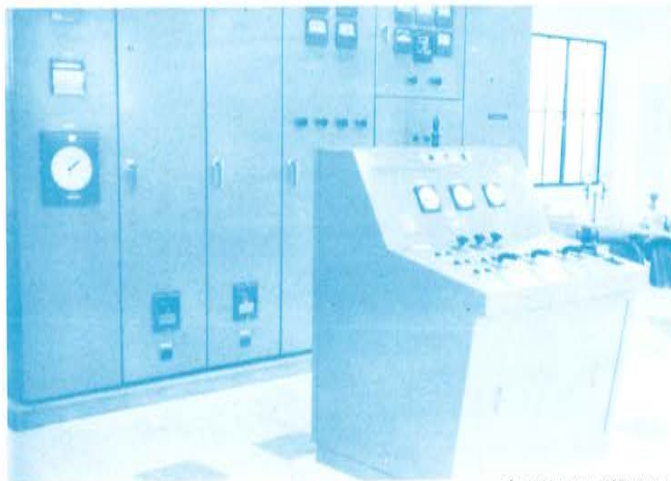
上水道の状況

(39年度決算から)

	38年度	39年度
給水戸数	2,317戸	2,453戸
給水人口	10,426人	11,038人
総配水量(m^3)	1,024,541	1,164,846
総給水量(m^3)	708,732	806,569
1日平均配水量(m^3)	2,806	3,191
1日平均給水量(m^3)	1,941	2,209
有収水量(%)	69.1%	69.2%

簡易水道の現況

給水人口	1,800人
給水世帯	402戸
年間配水量	54,000 m^3
1日平均	150 m^3
使用水量	46,290 m^3



加圧ポンプ場内部



医療衛生施設

保健所	病 院				診 療 所		歯 科 診療所	薬 局	医薬品 販売店
	施設数	病 床 数			施設数	病床数			
		結 核	伝染病	その他					
1	2	40	25	135	39	111	16	11	33

医療関係者数

総 数	医 師	歯科医師	薬 剤 師	保 健 婦	助 産 婦	看 護 婦	整骨その他 鍼灸アーマッサージ	栄 養 士
266	50	16	29	9	44	95	17	6

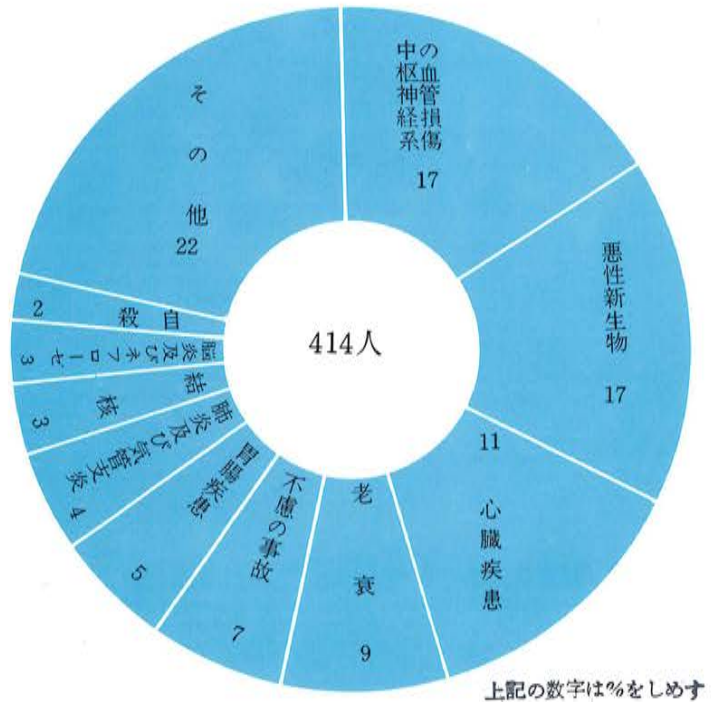
予防接種実施状況

種 別	種 と う			百日咳・ジフテリア混合		ジフテリア		腸パラ	生ワク
	1 期	2 期	3 期	1 期	2 期	3 期	4 期		
対 象 者	716	812	1,025	716	690	821	1,025		1,496
接 種 者	699	682	1,006	676	585	763	980	10,580	1,102
率	98.2%	83.1	90.3			92.9	95.6		73.7

法定伝染病発生状況

年	病名	赤痢・疫痢	ジフテリア	日本脳炎	猩紅熱	チブス	小児マヒ	計
33		33	13	6	0	2		54
34		49	2	1	3			55
35		24	12	0	2	1	2	41
36		11	6	2			9	28
37		17	3	1			1	22
38		12	6	2	2			22
39		11	1	1	1	1		15

死因別死亡者数38年



し尿処理場

昭和40年3月竣工。1日処理能力36キロリットルで対象人口36,000人分を処理する近代的な大施設で加温式二段消火法による機械浄化の全自動式である。

塵芥焼却場

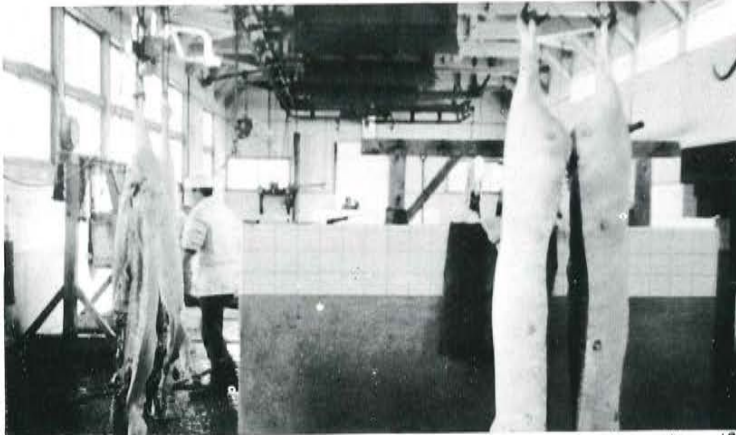
従来の焼却場での処理能力が限界に来了たので、昭和40年7月新たに1日処理能力15トンの新鋭機械炉を完成、3万人分のちりを焼却している。



し尿処理場と焼却場

火葬場

隣接町村の委託も含めて火葬件数年間平均600体の利用がある。



と畜場

と畜場

年間と殺、解体数

牛	600頭	豚	1,800頭
馬	550頭	その他	240頭

生活保護の現況

年 別	民生委員数	保護世帯数	保護人員	民生委員1人当り	
				保護世帯	保護人員
37	54	466	1,468	8.6	27.1
38	54	468	1,421	8.6	26.3
39	54	440	1,243	8.1	23.0

◎身体障害者調べ

肢体 451人、視覚 188人、聴覚 122人
音声言語69人、合計 830人

◎相談業務

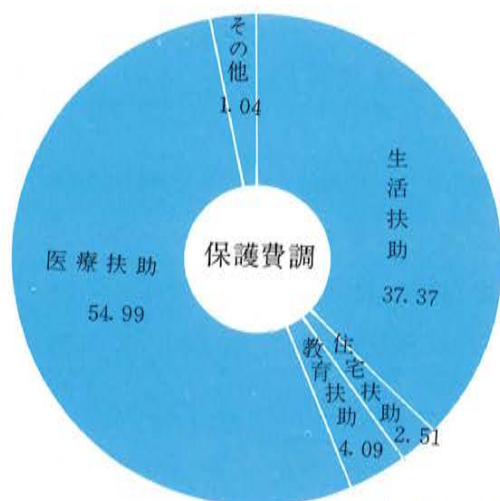
婦人相談利用者数 昭和39年度39件
昭和40年、96件

○家庭児童相談室、利用者数、昭和39年
10月開設から40年12月まで 138件

○心配ごと相談所39年 84件、40年 50件

児童福祉施設一覧表

施設名	所在地	定員人	職員数人	開設年月日
玉名保育所	繁根本	150	10	S24、6、1
第2保育所	中	100	8	36、4、1
滑石保育所	滑石	120	10	32、4、1
伊倉保育所	伊倉北方	140	8	27、7、1
ちどり保育所	大浜町	60	5	27、4、1
豊水保育所	小野尻	60	4	28、10、1
梅林保育所	安楽寺	60	4	31、4、1
公立 7ヶ所		定員 690人	現員 49人	
慈 保育所	大浜町	70	5	25、10、1
敬愛保育所	築地	60	5	25、5、1
計 9ヶ所		定員 820人	現員 58人	
玉名市母子寮	繁根本	20世帯	1	28、10、1
八嘉児童館	大倉	60	3	40、4、1
蛇ヶ谷遊園	蛇ヶ谷			35、4、1
高瀬児童遊園	高瀬新町			39、3、25
養 老 院	岩崎	50	10	31、3、1



上記の数字は%をしめす



玉名保育所



静光園散髪奉仕

国民健康保険

現況、本市は昭和40年1月1日から被保険者全員の7割給付を実施している。

- 加入世帯 7,062世帯 ○ 年間受給件数（昭和39年度） 102,573件
- 加入者数 31,217人
- 給付額（昭和39年度）
 - △ 療養、治療給付 99,946,685円 △ 育児手当給付（415人） 480,000円
 - △ 助産費（454人） 908,200円 △ 葬祭費（268人） 536,000円
- 保険税の負担額（39年度）
 - 1世帯当り 5,818円 1人当り 1,316円

療養給付費負担割合（昭和39年度）

		1世帯当り	1人当り
費用額	165,452,121 ^円	23,428 ^円	5,300 ^円
保険者負担金（市負担）	99,946,685	14,152	3,201
一部負担金（被保険者負担）	63,852,681	9,041	2,045
結核予防法（国、県、負担）	1,652,755	234	52

国民年金

国民年金被保険者調査表

区分 年度別	総数	内訳		摘要
		強制	任意	
昭和37年度	11,749	10,904	845	
" 38年度	11,815	10,889	926	
" 39年度	12,609	11,635	974	

国民年金、受給者調査

区分 年度別	拠出制年金			福祉年金				
	母子	障害	遺児	老令	障害	母子	未支給	準母子
昭和37年度	8	0	0	1,517	219	152	144	16
" 38年度	20	2	5	1,876	234	135	96	18
" 39年度	38	2	6	1,784	242	103	114	1



玉名高等学校

小 学 校

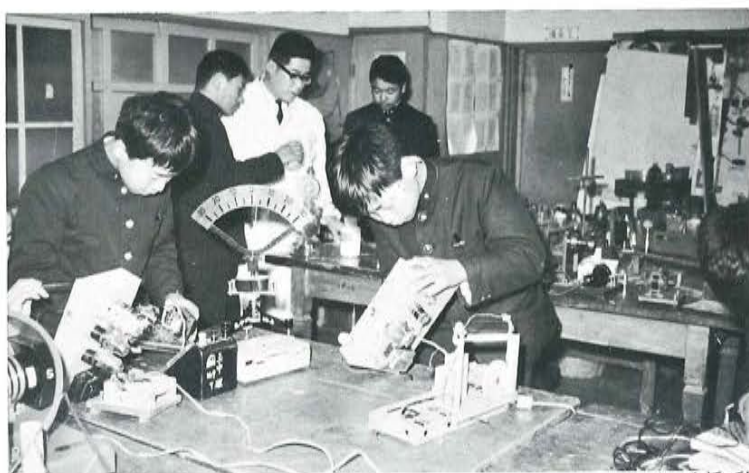
	学 校 名	所 在 地	教 員 数	児 童 生 徒 数	学 級 数
市 立	玉 名 町 小 学 校	岩 崎	47	1,558	38
"	築 山 "	築 地	14	329	12
"	滑 石 "	滑 石	17	540	14
"	大 浜 "	大 浜 町	20	572	16
"	豊 水 "	小 野 尻	8	187	6
"	伊 倉 "	宮 原	18	596	14
"	八 嘉 "	田 崎	13	321	10
"	梅 林 "	安 楽 寺	13	335	11
"	小 田 "	上 小 田	8	186	6
"	月 瀬 "	溝 上	8	154	6
"	玉 名 "	玉 名	8	194	6
"	石 貫 "	石 貫	8	196	6
"	三ッ川 "	三 ツ 川	8	141	6
	計		190	5,309	151



小学校図書館

中 学 校

	学 校 名	所 在 地	教 員 数	児 童 生 徒 数	学 級 数
市 立	玉 名 中 学 校	岩 崎	36	942	21
"	大 豊 "	大 浜 町	17	446	11
"	玉 南 "	伊 倉 北 方	22	613	14
"	玉 陵 "	玉 名	26	728	17
組 合 立	岱 陽 "	岱 明 町	32	927	21
"	岱 南 "	岱 明 町	21	599	14



クラブ活動

高 等 学 校

	学 校 名	所 在 地	教 員 数	生 徒 数
県 立	玉 名 高 等 学 校	中	77	1,810
"	玉名農業 "	立 願 寺	62	1,010
"	玉名工業高等学校	岱 明 町	63	882
私 立	玉名女子 "	岩 崎	58	1,581

各種学校・幼稚園

学 校 名	所 在 地	職 員 数	児 童 生 徒 数
黒崎和洋裁学校	立 願 寺	7	115
高瀬文化服装学院	繁 根 木	9	82
九州文華洋裁学院	繁 根 木	6	40
大洋自動車学校	向 津 留	43	240
玉名女専附属幼稚園	中	18	287
ルーテル幼稚園	繁 根 木	3	40

給食センター

昭和38年9月完成、玉名、玉陵、各中学校、月瀬、玉名、梅林、小田、三ッ川、石貫、各小学校児童 3,500人分の給食を一度に賄える県下一のマンモス施設である。



給食センター内部

社会教育



婦人会バレー大会

社会教育関係学級実施状況（40年）

学級別	学級数	学級従生数	実施延時間数
青年学級	12	442	1,252
婦人学級	13	2,681	376
家庭教育学級	13	925	212
※老人学級	13	520	(福祉事務所担当)



各支館と分館別事業実施状況（S. 39年度）

項目		支館別													
		玉名町	築山	滑石	大浜	豊水	伊倉	八嘉	梅林	小田	月瀬	玉名	石貫	三ッ川	計
支館	事業回数	10	3	5	4	5	4	2	1	1	1	2	3	2	43
	参加延人数	1,000	240	1,500	3,500	600	280	800	130	60	80	220	500	450	9,360
分館	施設数	16	4	8	8	5	5	9	4	5	4	5	2	3	78
	事業回数	32	20	15	1	7	4	27	3	1	19	26	2	12	169
	参加延人数	2,450	1,200	1,050	200	310	130	1,423	120	40	1,000	1,200	160	600	9,883



警察

玉名警察署
警察官 63人
その他 8人
計 71人



玉名警察署

昭和39年度 刑法犯発生調

	窃盗	傷害	暴行	詐欺	横領	恐喝	その他	交通事故
1月	73	4	4	3	7	1	13	9
2月	44	3	4	2	4	5	11	7
3月	72	3	19	2	1	10	7	12
4月	81	7	4	22	1	36	20	13
5月	58	6	2	11	2	6	13	5
6月	52	5	2	6	1	3	9	6
7月	67	5	1	5	0	2	6	13
8月	42	8	1	0	0	0	14	16
9月	47	3	1	2	2	3	11	6
10月	44	7	6	8	9	2	13	11
11月	50	1	3	1	1	1	11	18
12月	49	4	3	17	1	0	16	14
計	679	56	50	79	29	69	144	130

消防

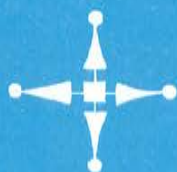
月別火災件数 (昭和40年)

月	件数
1月	0
2月	1
3月	6
4月	2
5月	5
6月	1
7月	2
8月	1
9月	0
10月	1
11月	0
12月	4
計	23

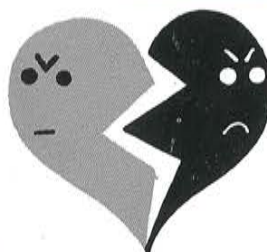
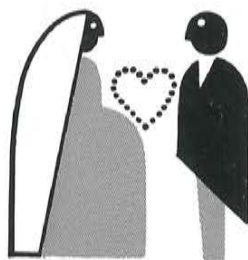
原因別火災

原因	件数
炊事場関係	4
危険物関係	7
子供の火遊び	2
放火	1
取灰	1
子供の2B弾	1
その他	3
焚火	4
計	23

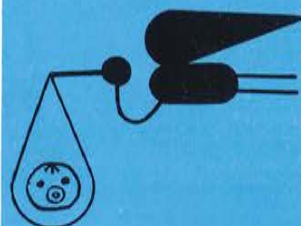




婚姻1日に1.6組



離婚12日に1組



出生1日に2人



死亡1日に0.8人



転入1日に5.8人



転出1日に6.6人



世帯一世帯に4.4人



タバコ1人1日に4.3本



酒1人年に38.3ℓ



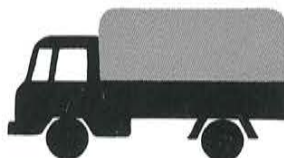
電話6.8世帯に1台



テレビ1.7世帯に1台



乗用車市民169人に1台



貨物自動車市民56人に1台



警察官市民720人に1人



消防士市民1,778人に1人



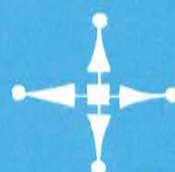
医師市民700人に1人



火災21日に1件



交通事故2.8日に1件





有明航送船



玉名温泉岩風呂



蛇ヶ谷公園 展望台



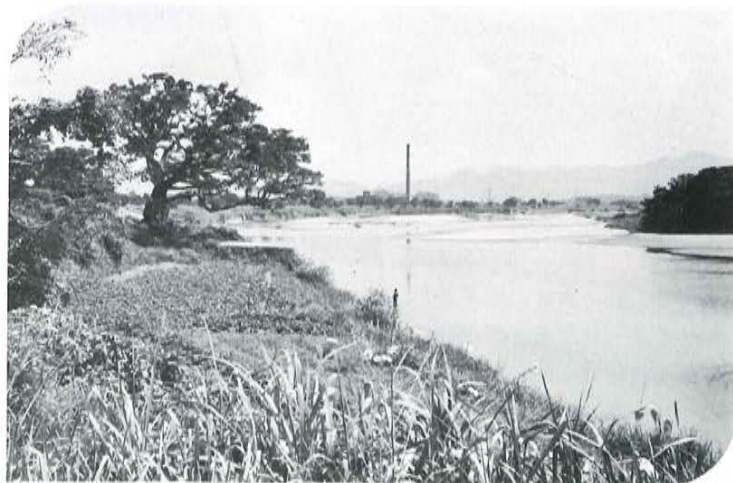
蛇ヶ谷自然公園

玉名温泉から徒歩で7分の景勝の地、園内には、桜、つつじ、紅葉等10,000本が植栽され児童遊園地、展望台等の施設があり、ピクニックにハイキングに最適の地である。

清流菊池川

玉名市の中央部を阿蘇外輪山に源を発する菊池川が流れている。

東部に石灰石層の木葉山、北部に歴史的遺跡と景観の美に富む県立公園小岱山との間にデルタ地帯玉名平野を形成し、市の中心部、小岱山の南東麓に温泉郷がある。





県立公園小岱山の山ふところに抱かれ、大阿蘇の深溪に源を発する清流菊池の流れが市内を貫流し全国有数のラジウム泉を誇る玉名温泉を擁し、別府—阿蘇—雲仙を結ぶ国際観光ルートの中継地として訪れる観光客も年々増加の一途を辿りつつある。



(田原坂)

明治10年西南の役における激戦地で民謡“田原坂”でひろく知られた史蹟である。

(玉名駅から12K タクシーにて20分)

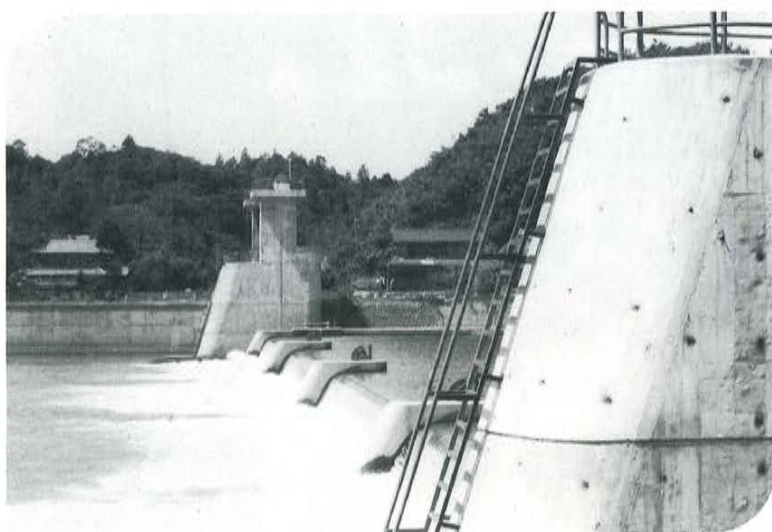


(広福寺)

玉名市石貫にある。正平12年（今から約600年前）尽忠菊池氏創建。

傑僧大智禪師を開山とする名利で、昭和14年、往時の菊池家の起請文、寄進状その他(108通4巻)が重要文化財に指定された。

(玉名駅前から6キロ バスで約20分)



(白石堰)

水上公園として夏のバカンス族の別天地として知られ、大公望にとっては最適の釣り場となっている。

(玉名市月瀬溝上 バスにて20分)



有明海 潮干狩



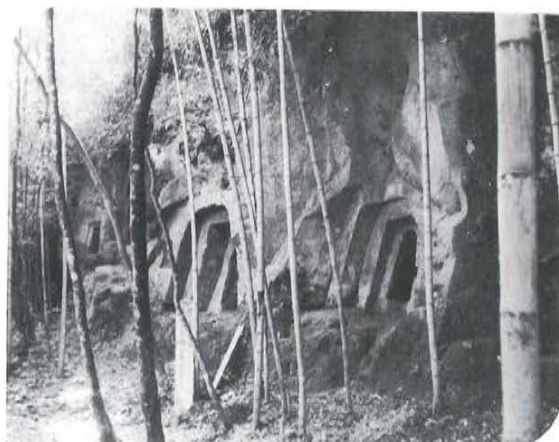
ぞうめきの滝

小岱山山麓に夏の冷房地帯がある。ハイキングの際は必ずこの地でソーメン流しをして夏の味覚をたのしむ。



(キリシタン墓)

別名バテレンの墓とも呼ばれ明治の初め頃、堀り出されたもので今から約 350年前後のものと推定される。市指定史蹟
(玉名市伊倉北方唐人町 バスにて10分)



(石貫ナギノ横穴古墳群)

岩壁に大小43個の横穴が並んでいる様は壮観である。1,300年前のものと推定される。
(玉名駅前から 5.5キロ バスで約20分)



玉名市12年のあゆみ

昭和29年

- 4 月 市制施行
- 〃 第1回市長選挙施行
- 5 月 初の市議会開かる
- 議員数 183名
- 〃 公営住宅7戸完成

7 月 玉名市外4ヵ町村組合立済春病院落成

9 月 玉名市消防本部設置

〃 玉名平野土地改良区期成会設立

昭和30年

- 1 月 第1回成人式開催
- 2 月 市議会議員選挙（定員30名）
- 3 月 公営住宅20戸完成



市議会



公営住宅



果樹指導所



成人式
記念木配

5月 市制施行祝賀祭
 " 市歌、玉名小唄入選発表
 7月 岩崎排水ポンプ場完成
 " 月瀬小校舎改築完成
 県下ジュニアレクリエーション大
 " 会開催
 " 八嘉小校舎改築完成
 " 玉名町小給食室完成
 8月 県果樹指導所落成

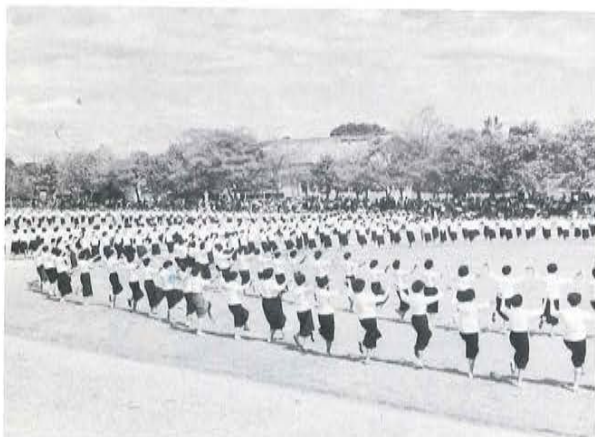
9月 玉名中校舎改増築完成
 " 玉名平野総合開発調査開始
 " 塵芥焼却場完成
 11月 大浜小学校講堂完成
 12月 市民文化祭開催

昭和31年

1月 南関町三ツ川地区市に編入
 2月 滑石診療所診療開始



大浜小講堂



市民体育祭



伊倉小学校



静光園



玉名駅と改称

3月 石貫小校舎改築完成
 " 伊倉小校舎改築完成
 " 蛇ヶ谷自然公園植樹1万本運動展開
 4月 梅林保育所開設
 " 小岱山新熊本25景に選ばれる
 " 高瀬駅を玉名駅と改称
 " 市立静光園開設
 5月 第1回市民体育祭開催
 8月 市奨学資金制度制定

12月 山田、伊倉公営住宅31戸完成

昭和32年

3月 上水道工事着工
 " 玉名中屋内体育館完成
 6月 滑石保育所開設
 7月 集中豪雨による水害(7.26災害)
 9月 県民体育祭開催
 10月 玉名町小校舎改築完成
 11月 市長新市建設功労者として総理大臣



蛇ヶ谷植樹



玉名中学校体育館



県民
体育祭



白石堰欠潰



キャンプ講習会

表彰

- 12月 豊水小講堂新築完成
- " 大浜小校舎改築完成
- " 山田公営住宅25戸完成

昭和33年

- 3月 玉陵中新築落成
- 4月 玉陵中開校
- 小田小開校

- " 市農産物共同集出荷所と雅蚕共同飼育所完成
- 5月 有線放送、放送開始
- " 豊水小講堂完成
- " 大浜小校舎改築完成
- 7月 第1回青少年キャンプ講習会開催
- 11月 西築地公営住宅24戸完成
- 12月 玉名大橋完成



玉陵中学校



有線放送



西部マラソン



畜産共進会



市制5周年記念



市制5周年

昭和34年

- 3月 蛇ヶ谷自然公園植樹1万本達成植樹大会
- 〃 蛇ヶ谷公園の展望台完成
- 5月 豊水保育所改築
- 〃 玉名警察庁舎落成
- 〃 上水道工事完成
- 〃 産業道路開通
- 6月 第11回西部マラソン大会開催、次回

より本市で開催と決る

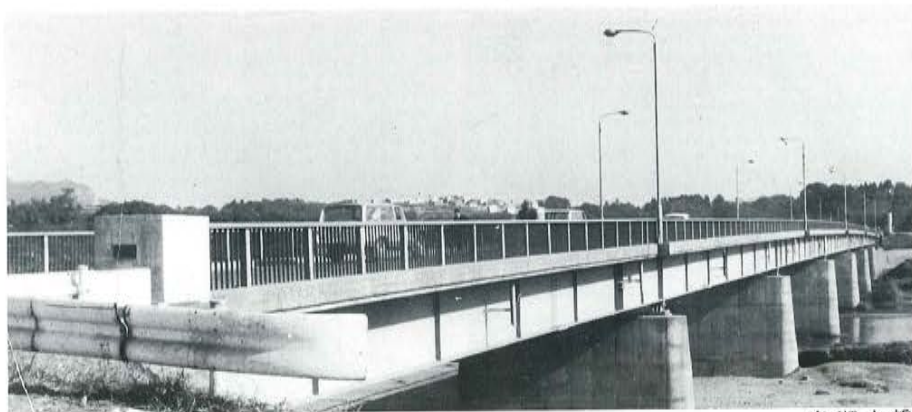
- 〃 築山小学校新築落成
- 9月 市庁舎落成
- 10月 石貫診療所診療開始
- 〃 市制5周年記念祝賀祭
- 〃 南大門公営住宅24戸完成
- 12月 九州各県連合会畜産共進会開催
- 〃 大浜のり人工培養所完成



蛇ヶ谷遊園地



全日本実業団軟式庭球大会



高瀬大橋



国鉄玉名駅



県種鶏場

昭和35年

- 2月 玉名町小講堂火災
- 5月 組合立岱陽中屋内体育館完成
- 7月 蛇ヶ谷児童遊園地開園
- 〃 全九州高校アマチュアレスリング開催
- 8月 玉中、玉名町小プール開き
- 9月 南大門、西南大門公営住宅25戸完成
- 〃 全国実業団軟式庭球大会開催
- 〃 築山小校舎新築落成

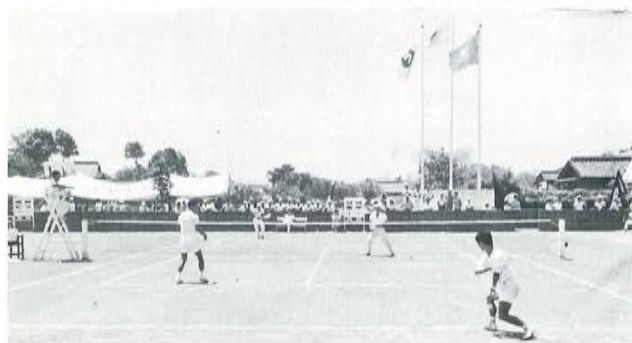
- 10月 高瀬大橋完成
- 〃 第15回国体軟式庭球、レスリング会場となり、両陛下御来臨
- 〃 玉名駅舎落成
- 12月 県種鶏場完成

昭和36年

- 1月 滑石人口のり培養所完成
- 3月 玉名町小屋内体育館完成



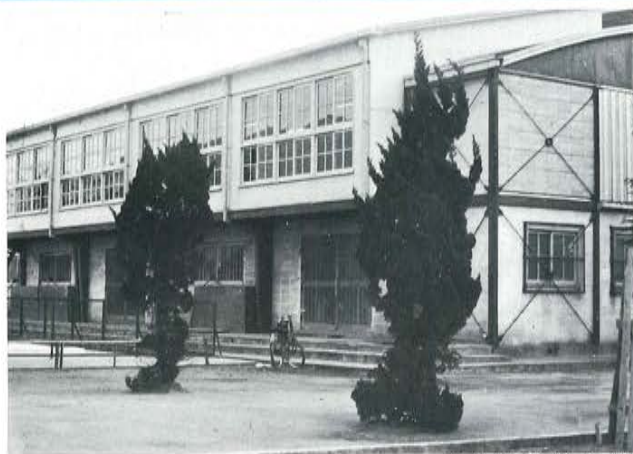
第15回国体



4月 玉名市第二保育所開設
 〃 伊倉隣保館完成
 6月 農業近代化資金を市で設ける
 7月 玉名駅前ロータリー裸婦像
 「希望」完成
 8月 玉名平野土地改良区設立
 〃 改良事業着手
 9月 公営住宅大倉団地造成工事完成
 12月 山田、大倉に公営住宅45戸完成

昭和37年

1月 白石堰改修起工式
 〃 玉南中学校舎増築完成
 〃 小田小校舎新築落成
 3月 玉名市養豚センター完成
 〃 玉名電報電話局自動局舎落成
 〃 八嘉地区簡易水道完成
 4月 熊本地方裁判所玉名支部庁舎落成
 〃 石貫小校舎改築完成



玉名町小体育館



大倉団地
住宅地造成



玉名電報電話局と玉名裁判所



裸婦像
「希望」



白石堰改修



小田小学校

- 7月 集中豪雨による水害発生
 8月 伊倉小、梅林プール完成
 10月 玉名市農業協同組合発足(11農協合併)
 " 繁根木八幡宮一千年祭
 11月 名誉市民条例制定 金栗四三・新穂登免両氏推さる
 " 大倉公営住宅49戸完成

- 3月 玉陵中屋内体育館完成
 4月 熊本県立玉名工業高校開校
 " 三ツ川牧野造成事業完成
 7月 新産都市指定
 " 市長建設大臣表彰
 8月 全日本大学軟式庭球大会開催
 9月 給食センター完成
 (8小中学校に給食開始)
 " 豊水小校舎改築完成

昭和38年



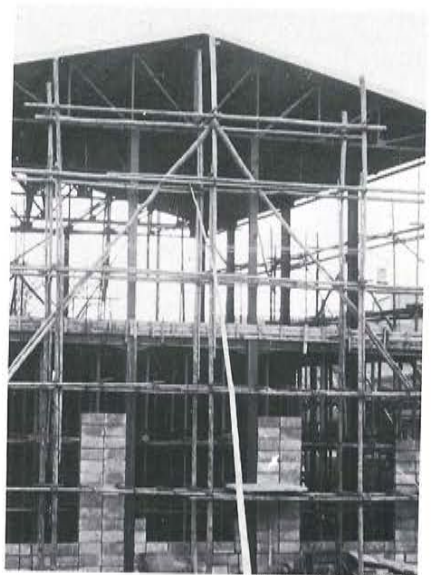
繁根木八幡宮一千年祭



玉陵中体育館



給食センター



有線電話本館建築



濁流となった水田



県立玉名工業高等学校

10月 上水道拡張工事着工
 " 三ツ川小校舎新築落成
 " 公明選挙推進協議会自治大臣表彰
 11月 市消防署発足
 " 農業構造改善事業着手
 12月 大倉公営住宅48戸完成

 " 昭和39年
 1月 し尿処理場完成

" 税務署庁舎落成
 2月 官軍墓地跡に児童遊園地完成
 3月 市営温泉保養センター落成
 " 石貫小校舎改築完成
 4月 市政懇談会開催
 " 市制10周年記念式典
 " 滑石小校舎改築完成
 5月 上小田区画整理事業完成
 6月 白石堰完成



し尿処理場



市営温泉センター落成記念敬老会



市政懇談会



オリンピック聖火リレー



市制十周年



農協低温倉庫

9月 八嘉小運動場完成
 " 聖火玉名市を通過
 10月 大浜小プール完成
 11月 大倉公営住宅45戸完成
 12月 市農協低温倉庫完成

昭和40年

1月 消防署望楼完成
 " 国民健康保険 7割給付実施

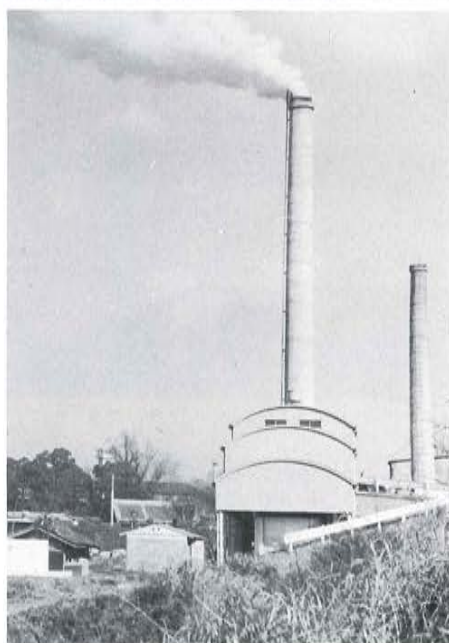
3月 梅林小 2教室完成
 " 月瀬、八嘉小、特別教室完成
 " 小笠山火災
 4月 農協会館落成
 5月 大浜外島神社年記祭
 7月 西日本大学軟式庭球大会開催
 " 日米親善高校レスリング大会開催
 8月 塵芥焼却場完成
 9月 上水道拡張工事完成



外島神社年記祭



市消防署



塵芥焼却場



市営大衆浴場

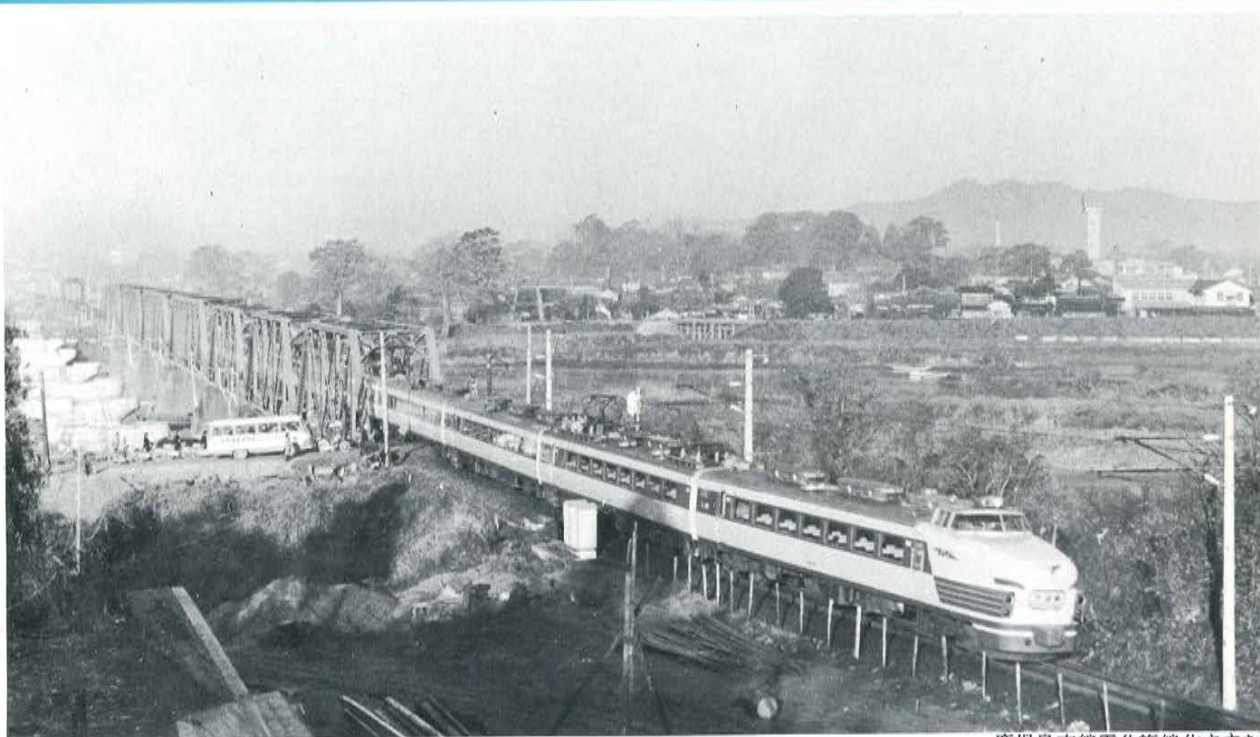


大豊中体育館

// 滑石小プール完成
 // 大豊中屋内体育館完成
 // 農協みかん選果場完成
 10月 市営大衆浴場落成
 // 鹿児島本線電化開通
 11月 有線放送電話施設工事着工
 // 商工会館落成
 12月 玉名市第3保育所建設着工
 // 大倉公営住宅64戸完成

12月 梅林・小田地区湛水防除事業着工
 昭和41年

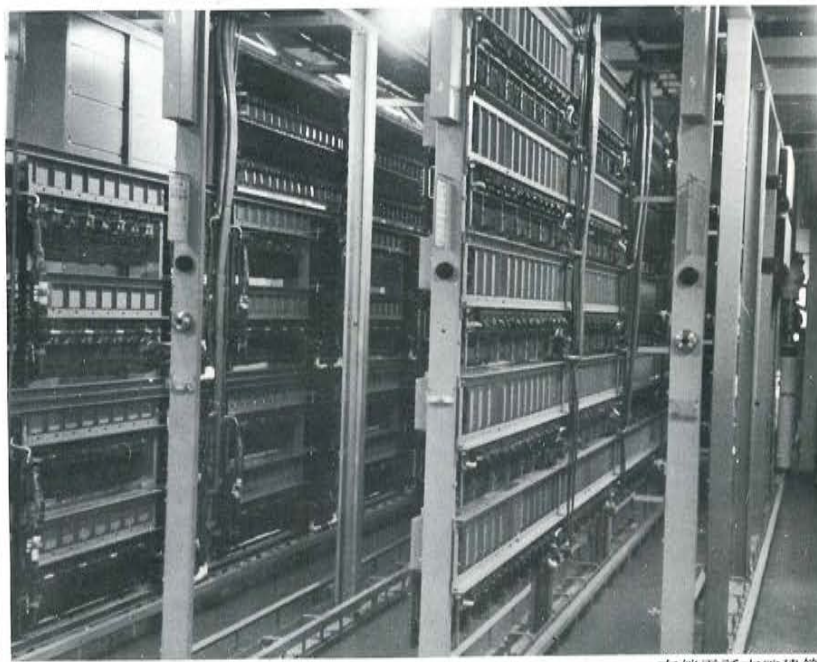
// 市民文化厚生会館起工式
 // 都市下水道工事着工



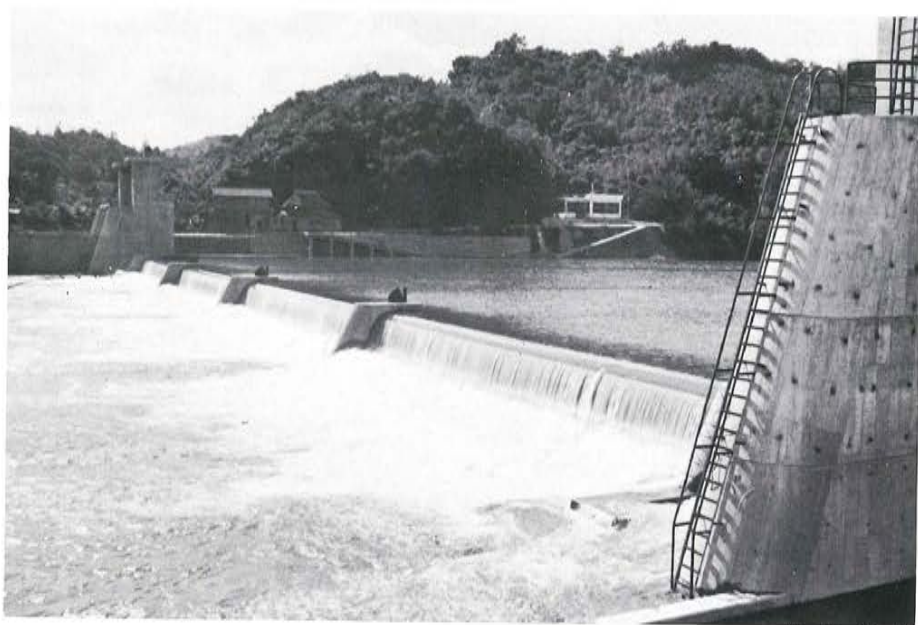
鹿児島本線電化複線化すすむ



市民文化会館起工式



有線電話本館建築



新白石堰

玉名平野は、有明海に注ぐ菊池川を主水源とする約 4,400ヘクタールの耕地であり近年脚光をあびつゝ、ある有明臨海工業地帯を控え今後背後地農業の占める役割は非常に大きなものがある。

この玉名平野総合開発の一環として先づ菊池川の「かんがい用水源の確保」が考えられ、昭和35年度に「県営玉名平野土地改良事業」が着工された。事業目的は、①老朽著しい白石堰の改修、②各地区にある電気揚水を統合し、自然流下への切替による経費の節減③コンクリート水路流下による量水の節減、④用水不足地への補給、⑤畑地かんがい等、水資源の確保である。総事業費は約15億6千万円で内訳は次のとおり。

頭着工	342,000千円	
1号幹線水路（左岸）	412,331千円	L=7,596 m
2号 〃 〃（右岸）	274,740千円	L=6,000 m
畑地かんがい施設	26,500千円	揚水ポンプ 2 台
開田及び補給水源施設	35,360千円	〃 3 台
南部地区水路	326,200千円	L=21,305 m
機具、施設経費	16,132千円	
機械工事雑費事務費	125,637千円	

なお本事業による受益効果は、作物純益額65,269千円営農労力節減額52,164千円、投資効率1.16%程度が見込める。これと併行して『県営梅林地区湛水防除事業』が、総事業費 101,000千円で3ヶ年継続事業として着手されているが、これにより梅林、小田の水田湛水地区の排水が改良される。

このようにして菊池川を主水源とする水資源の確保により余水の工業関係利用が期待され、更に横島干拓の完成により、本事業の効果は飛躍的に大きくなるものと期待される。

主な官公署及び公共機関

名 称	所 在 地	電 話
国 県 の 機 関		
熊本地方裁判所玉名支部	繁 根 木	3 0 3 7
熊本地方簡易裁判所玉名支部	"	3 0 3 7
熊本地方家庭裁判所玉名支部	"	3 0 3 7
熊本地方法務局玉名支局	"	2 3 4 7
玉 名 区 検 察 庁	"	2 3 7 3
玉 名 税 務 署	"	2 1 2 5
玉名労働基準監督署	中	2 3 2 6
日本専売公社玉名出張所	"	2 2 1 0
農林省玉名海岸保全事務所	"	3 1 8 5
建設省山鹿工事事務所玉名出張所	永 徳 寺	2 3 1 4
玉名公共職業安定所	中	2 3 0 4
玉 名 警 察 署	繁 根 木	2 1 7 1
熊 本 県 玉 名 事 務 所	"	2 0 0 4
熊 本 県 玉 名 土 木 事 務 所	中	2 1 0 5
熊 本 県 玉 名 保 健 所	"	2 1 8 4
熊本食糧事務所玉名支所	亀 甲	3 0 8 5
熊本統計事務所玉名出張所	"	2 4 2 2
熊本県玉名果樹指導所	築 地	3 3 2 9
熊本県玉名蚕業指導所	中	2 3 8 5
熊本県玉名家畜保健衛生所	"	2 8 0 4
熊本県教育庁玉名出張所	繁 根 木	2 3 7 4
熊 本 県 養 鶏 試 験 場	伊倉北方	2 8 0 1
熊本県立玉名高等学校	中	2 1 0 1
熊本県立玉名農業高等学校	立 願 寺	3 0 4 5
熊本県立玉名工業高等学校	岱 明 町	2 5 4 6
市 の 機 関		
玉 名 市 役 所	繁 根 木	2 1 1 1
玉 名 市 消 防 署	"	2 5 8 6
玉 名 市 し 尿 処 理 場	"	3 7 3 5
玉 名 市 公 会 堂	"	2 2 4 8
静 光 園	岩 崎	2 3 9 5
母 子 寮	繁 根 木	2 4 9 7
玉名市温泉保養センター	立 願 寺	2 0 8 7
玉 名 市 と 畜 場	伊倉北方	2 4 4 8
玉 名 市 上 水 道 水 源 地	溝 上	3 3 3 2

名 称	所 在 地	電 話
運 輸 通 信 機 関		
玉 名 駅	中	2 0 5 4
肥 後 伊 倉 駅	伊倉北方	3 4 0 7
玉 名 電 報 電 話 局	繁 根 木	3 9 0 7
玉 名 郵 便 局	亀 甲	2 2 8 0
玉 名 高 瀬 郵 便 局	高 瀬	4 9 5 4
大 浜 郵 便 局	大 浜	4 9 5 3
滑 石 郵 便 局	滑 石	4 9 5 7
玉 名 迫 間 郵 便 局	両 迫 間	4 9 5 8
米 富 郵 便 局	三 ツ 川	4 9 5 5
伊 倉 郵 便 局	伊倉北方	4 9 5 6
金 融 機 関		
肥 後 銀 行 玉 名 支 店	高 瀬	2 1 5 1
熊本相互銀行玉名支店	"	3 1 2 4
肥後相互銀行玉名支店	繁 根 木	3 1 4 4
旭相互銀行玉名支店	"	3 1 6 4
玉 名 信 用 金 庫	高 瀬	3 1 5 1
そ の 他 の 機 関		
玉 名 商 工 会 議 所	高 瀬	3 1 0 6
玉 名 市 農 業 協 同 組 合	中	3 1 9 1
伊 倉 町 農 業 協 同 組 合	宮 原	3 4 3 4
大 浜 町 農 業 協 同 組 合	大 浜	2 2 2 1
熊本県経済連合会玉名支所	中	2 3 0 9
熊本県農業共済組合連合会	"	2 4 8 1
熊本県農業協同組合中央会	"	3 0 6 0
熊本県信用農業協同組合連合会	"	2 0 6 9
玉名養蚕協同組合連合会	"	2 1 8 1
玉 名 畜 産 協 同 組 合	"	2 0 4 4
玉 名 酪 農 協 同 組 合	"	2 6 3 2
大 浜 漁 業 協 同 組 合	大 浜	2 3 3 8
滑 石 漁 業 協 同 組 合	滑 石	3 5 1 1
玉 名 市 農 業 共 済 組 合	繁 根 木	3 4 8 0
玉 名 商 業 協 同 組 合	高 瀬	2 0 9 5
玉 名 女 子 高 等 学 校	岩 崎	2 2 6 1

正 誤 表

頁	正	誤
23	3 億 9 千 万 円	3 9 億 円
23	海 苔 種 っ け	海 苔 種 っ
39	酒 1 人 年 に 28.3 ℓ	酒 1 人 年 に 38.3 ℓ

あ と が き

この要覧は市制10周年記念として、玉名市の姿を広く紹介する目的をもって市制施行後10年余のあゆみを写真と図表で表し、できるだけ目で見るとして編集したつもりですが、10年間の統計資料の整理集約に大半の力をそ、いだため写真と数字のら列となったことはいなめません。

資料不足や紙数の関係で不備の点も多くあること、と思いますが、本書によりその全貌を概略ながらお知らせすることが出来ましたら幸に存じます。

なお末尾ではありますが編集にあたり貴重な資料と写真をご提供下さいました関係各位に対し厚く御礼申し上げます。

昭和41年3月

企 画 広 報 課

